

2013 AWAJI JC.

協働
まち
～故郷と共に～



2013年度 社団法人淡路青年会議所

社団法人 淡路青年会議所

2012 年度事業報告並びに決算報告書

2012 年度理事長 上村 雄二郎

1. 理事長報告	1
2. 副理事長・室長報告	3
3. 専務理事報告	4
4. 諸会議報告	5
5. 委員会事業報告	12
6. 委員会別事業決算明細	28
7. 直前理事長報告	31
8. 特別顧問報告	32
9. 出向報告	33
10. 監事報告	39
11. 会員動向	46
12. 役員名簿	48
13. 出向者一覧	49
14. 組織及び委員会構成	50
15. 褒賞	51
16. 決算報告	52
17. 監査報告	63
18. 資料	64

2013 年度事業計画並びに収支予算書

2013 年度理事長 向内 英光

1. 理事長所信	96
2. 基本方針	99
3. 副理事長抱負	100
4. 専務理事抱負	101
5. 監事抱負	102
6. 委員長・室長事業計画並びに予算及び役割業務	103
7. 出向者抱負	115
8. 一般会計収支予算	122
9. 特別事業基金（特別会計）収支予算	125
10. 役員名簿	126
11. 出向者一覧	127
12. 組織及び委員会構成	128
13. 年間スケジュール	129
14. 日本 JC 近畿地区兵庫ブロック協議会組織図	130

2012年度

事業報告書

2012年1月1日～12月31日

**社 団 法 人
淡 路 青 年 会 議 所**

2012年度 スローガン

回帰革新

2012年度 基本方針

一、伝統への回帰、49年の道のりを確かめ、感謝を示し、新たな一步を踏み

出そう

一、過去の形に捕らわれない革新的な発想をもって挑戦しよう

一、積極的な行動で自らがJCの魅力を発信し、多くの同士を集おう

1. 理事長長報告



「回帰革新」をスローガンに掲げ、50周年という大きな節目の一年間でしたが、OBの皆様、そして現役メンバーの皆様に本当にお世話になり、理事長という大役をなんとか全うできましたことに、まずは心より感謝を申し上げます。

予定者の準備期間を終え、1月の新年例会から始まり、12月の家族忘年に至るまで、本当に沢山の会議、事業を重ねて参りましたが、この約1年と5か月間は長いようで本当にあつという間でした。それだけ怒涛の一年間だったのだらうと思うのですが、それは特にこの周年という節目の年だからこそその経験も多々あり、私にとりましても本当に勉強になった一年間でした。スローガンの「回帰革新」という言葉が示すとおり、まずは予定者の段階には初代理事長の弦牧先輩の下へご訪問させていただき、その時にも改めて「明るい豊かな淡路島」づくりに向けた当初の想いをお伺いし、これからもその変わらぬ思いをしっかりと引き継いで行かねばならないと感じた次第です。50周年という大きな節目を迎える事を大変楽しみにしていただいておりますが、残念ながら私どもの記念式典、祝賀会にお越しいただく事は叶いませんでした。改めて先輩には敬意を表しますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

春には多くの歴代理事長の皆様にもお話をお伺いしましたが、本当に貴重な時間を過ごさせていただきました。これもやはり、この大きな節目だからこそだったのではないかと思います。また特に理事の皆様におかれましても、本年はそれぞれの委員会での役割分掌がある中、プラスアルファの周年事業という事で、本当に御苦労をお掛けしましたが、これも本年だからできた経験であると思っておりますので、是非これからの活動に活かして頂きたいと思っております。そして正にその50周年記念式典、祝賀会においては、本当に多くのご来賓、関係諸団体、各地青年会議所メンバー、そしてOBの皆様にお越し頂き、300名という大きな座敷での祝賀会は圧巻の迫力で、皆様にお楽しみいただく事が出来たのではないかと思います。もちろんお楽しみ頂けたのは、私どもの感謝の気持ちを込めたおもてなしもあって実現できたことであり、特に各地青年会議所年メンバーに対しても、淡路JCのおもてなしの心を見せつける事が出来たと自負しております。

今年のメイン事業であった社会開発事業では、「淡路はひとつ」について突き詰める事は出来なかったものの、改めて「明るい豊かな淡路島」創造に対し向き合い、これからの淡路島の発展に向けては、島民一人ひとりが「夢」に向かって日々積極的に行動する事が大切であるという答えを導き出し、その想いを発信するべく「夢プロジェクト Awaji Dreams

～夢の力が地域を変える！～」を開催し、スペシャルゲストとして、清川あさみ氏、正木健人氏、野村忠宏氏のお三方をお招きして、沢山の皆様にその想いを伝える事ができました。その中で我々も改めて真の「淡路はひとつ」に向け、これからも JC 活動に邁進して行くことを確認できたのではないかと思います。本当に多くの出来事があり、多くの出会い、そして多くの経験をさせていただいた一年間ございました。皆様には今後の淡路 JC が 60 年、70 年、そして 100 年と続く組織となるべく、益々の支援、ご協力の程、よろしくようお願い申し上げます、報告とさせていただきます。一年間お世話になり、本当にありがとうございました。

2. 副理事長・室長報告

副理事長 飛松 孝司 原田啓行 向内 英光 室長 木原 慎陽



まず初めに創立 50 周年という大変栄誉ある節目に副理事長・室長という役割をいただいたことを、上村理事長をはじめ、関係者の方々に改めてお礼を申し上げます。

2012 年度 4 名の副理事長・室長で、理事長の掲げる「回帰革新」のスローガンを具現化すべく、喧々諤々とした議論を積み重ね、その方針にのっとった行動を起こしてきたつもりではございましたが、結果的に「革新」というよりも「回帰」という部分の体現を目指していたようにも感じます。いったん過去を振り返り、模倣し、そこに時代の変化が加わることで自ずと「革新」が生まれると考えたからです。メンバーを取り巻く環境や人との関わりが絶えず変化を続ける、そのような時代に抗うように、「人と人が真剣にぶつかり合うことでしか強いリーダーシップはみがない」という想いを共有し、一年間を過ごしてまいりました。そんな想いと隔たりやギャップがある中で、達成したこと・できなかったところがあるかと思えます。しかしながら、その想いを絶えず持ち続けたことが、次年度へのよい影響として引き継がれていくものと信じています。

最後に、一年間関わっていただいたメンバーの皆様にあらためて感謝申し上げます報告とさせていただきます。

3. 専務理事報告

専務理事 池澄 泰彦



2012年度上村理事長のもと、専務理事という立場を仰せつかり、私自身、専務理事としては、力不足のところが多々ありましたが、皆様のお力添えをいただき、一年間を終えることができました。ありがとうございました。

本年、メンバーが最大限の力を発揮し、理事長が目指す志高い集団へと導くことを目標に活動してまいりました。専務理事として、理事長の秘書的業務はもちろんのこと、組織の全体を把握し、組織の力が十分に発揮できるように、三役等、各委員会との調整し、活動の補助することが大変重要であることを感じました。また、2012年度は例年と異なり、50周年という大きな節目があり、LOM以外の関わりが例年より実によく、その上、一般社団法人への移行等、その調整と雑務に追われていた一年でありましたが、これまで築いてこられた活動の重要性に接することができ、素晴らしい経験をさせていただきました。

最後に、ご指導していただいた皆様に、心から感謝申し上げます。専務理事としての報告とさせていただきます。

4. 諸 会 議 報 告

社団法人 淡路青年会議所 第 75 回通常総会

2012 年 1 月 11 日(水)於 夢泉景

出席者 43 名 書面評決 21 名 委任状 0 名

- 第 1 号議案 2011 年度事業報告承認に関する件
- 第 2 号議案 2011 年度決算報告承認に関する件
- 第 3 号議案 2012 年度事業計画変更の件
- 第 4 号議案 2012 年度例会日時変更の件
- 第 5 号議案 2012 年度修正予算承認に関する件

社団法人 淡路青年会議所 第 56 回臨時総会

2012 年 8 月 8 日(水)於 洲本市文化体育館

出席者 43 名 書面評決 21 名 委任状 0 名

- 第 1 号議案 2011 年度 理事予定者承認に関する件
- 第 2 号議案 2011 年度 理事長予定者承認に関する件
- 第 3 号議案 2011 年度 監事予定者承認に関する件

社団法人 淡路青年会議所 第 76 回通常総会

2012 年 12 月 15 日(土) 於 ホテルニューアワジ

出席者 44 名 書面評決 20 名 委任状 0 名

- 第 1 号議案 2012 年度 預かり金処分の件
- 第 2 号議案 2012 年度 一般会計収支補正予算の件
- 第 3 号議案 2012 年度 特別会計収支補正予算の件
- 第 4 号議案 2013 年度 組織構成及び委員会構成の件
- 第 5 号議案 2013 年度 出向者の件
- 第 6 号議案 2013 年度 一般会計収支予算の件
- 第 7 号議案 2013 年度 特別会計収支予算の件
- 第 8 号議案 2013 年度 事業計画の件
- 第 9 号議案 2013 年度 例会・総会日時の件
- 第 10 号議案 2013 年度 預かり金の件
- 第 11 号議案 一般社団法人淡路青年会議所 定款制定の件

理事会報告

月 日	内 容	場 所
1. 4 (水)	<p>1 月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2011 年度事業報告の件 (2) 2011 年度決算報告の件 (3) 新入会員承認の件 (4) 新入会員配属の件 (5) 2012 年度事業計画変更の件 (6) 2012 年度例会日時変更の件 (7) 2012 年度修正予算承認に関する件 (8) 2012 年度会費徴収の件 (9) 対内広報紙発行の件 (10) 1 月新年例会の件 (11) 第 75 回通常総会の件 (12) 第 75 回通常総会提出議案の件 (13) 新年会の件 (14) 入会案内冊子の件 (15) 総合資料作成の件 (16) 会員名簿作成の件 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2 月例会の件 (2) 3 月例会の件 (3) 前期入会候補者説明会の件 (4) 研修事業の件 	夢海游 淡路島
2. 1 (水)	<p>2 月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2 月例会の件 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 3 月例会の件 (2) 前期入会候補者説明会の件 (3) 研修事業の件 (4) 4 月例会の件 (5) 4 月例会 淡路心和～淡路 JC50 年の軌跡～の件 (6) 第 18 回わんぱく相撲淡路場所の件 (7) 平成の大合併の検証広報の件 	夢海游 淡路島

月 日	内 容	場 所
3. 7(水)	<p>3月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 1月新年例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 第75回通常総会の設営事業報告の件</p> <p>(3) 新年会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(4) 3月例会の件</p> <p>(5) 前期入会候補者説明会の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 4月例会の件</p> <p>(2) 4月例会 淡路心和～淡路JC50年の軌跡～の件</p> <p>(3) 第18回わんぱく相撲淡路場所の件</p> <p>(4) 平成の大合併の検証広報の件</p> <p>(5) 5月例会の件</p> <p>(6) 5月例会～JayceeはJCの為、JCはJayceeの為～の件</p>	夢海游 淡路島
3.17(水)	<p>第1回臨時理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 7月例会の件【一部審議】</p>	事務局
4. 4(水)	<p>4月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 新年会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 2月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 会員名簿作成報告並びに決算報告の件</p> <p>(4) 総合資料の作成報告並びに決算報告の件</p> <p>(5) 50周年記念事業実行委員会拠出金以来の件</p> <p>(6) 4月例会の件</p> <p>(7) 4月例会 淡路心和～淡路JC50年の軌跡～の件</p> <p>(8) わんぱく相撲淡路場所の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 5月例会の件</p> <p>(2) 5月例会～JayceeはJCの為、JCはJayceeの為～の件</p> <p>(3) 6月例会の件</p> <p>(4) 6月例会（社会開発委員会）の件</p> <p>(5) 研修事業の件</p>	夢海游 淡路島
5. 2(金)	<p>5月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) きらめき未来塾 後援名義使用依頼の件</p> <p>(2) 3月例会 事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 前期入会候補者説明会 事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(4) 5月例会の件</p> <p>(5) 5月例会～精神の共有～の件</p>	夢海游 淡路島

月 日	内 容	場 所
6. 6 (水)	<p>6月理事会</p> <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 6月例会の件 (2) 6月例会（社会開発委員会）の件 (3) 研修事業～時は今！目覚めよ！真・淡路 Jaycee～の件 (4) 7月例会の件 (5) 7月例会（総務広報委員会）の件 (6) 淡路島まつりおどり大会の件 <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 4月例会 事業報告並びに決算報告の件 (2) 4月例会 淡路心和～淡路 JC50年の軌跡～事業報告並びに決算報告の件 (3) 6月例会の件 (4) 6月例会 淡路はひとつ！～社会開発に向けて～の件 (5) 研修事業～時は今！目覚めよ！真・淡路 Jaycee～の件 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 選挙管理委員会の設置の件 (2) 7月例会の件 (3) 7月例会 描け！未来の淡路 JC～一人ひとりの選択が未来を切り拓く～の件 (4) 淡路島まつりおどり大会の件 (5) 8月例会の件 (6) 8月例会～共に広げよう!!淡路 JCの輪～の件 (7) 創立50周年記念事業 淡路はひとつ！～灯そう淡路心和～の件 	夢海游 淡路島
7. 4 (水)	<p>7月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2012年度後期会費徴収の件 (2) 選挙管理委員会設置の件 (3) 7月例会の件 (4) 7月例会 描け！未来の淡路 JC～一人ひとりの選択が未来を切り拓く～の件 (5) 淡路島まつりおどり大会の件 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 8月例会の件 (2) 8月例会～共に広げよう!!淡路 JCの輪～の件 (3) 第56回臨時総会提出議案の件 (4) 第56回臨時総会の設営の件 (5) 9月例会の件 (6) 後期入会説明会の件 	夢海游 淡路島

月 日	内 容	場 所
8. 1 (水)	<p>8月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 5月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 5月例会～精神の共有～事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) わんぱく相撲淡路場所事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(4) 6月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(5) 6月例会 淡路はひとつ！～社会開発に向けて～事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(6) 2013年度理事予定者承認に関する件</p> <p>(7) 2013年度理事長予定者承認に関する件</p> <p>(8) 2013年度監事予定者承認に関する件</p> <p>(9) 第56回臨時総会提出議案の件</p> <p>(10) 第56回臨時総会の設営の件</p> <p>(11) 8月例会の件</p> <p>(12) 8月例会～共に広げよう!!淡路JCの輪～の件</p> <p>(13) 事務局員夏季休暇の件</p> <p>(14) 9月理事会日程変更の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 9月例会の件</p> <p>(2) 後期入会説明会の件</p> <p>(3) 10月例会の件</p> <p>(4) 社会開発事業の件</p>	夢海游 淡路島
9. 3 (月)	<p>9月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 7月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 7月例会 描け！未来の淡路JC～一人ひとりの選択が未来を切り拓く～事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 研修事業 事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(4) 9月例会の件</p> <p>(5) 後期入会説明会の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 10月例会の件</p> <p>(2) 創立50周年記念 夢プロジェクト『Awaji Dreams～夢の力が地域に活力を！～』の件</p> <p>(3) 11月例会の件</p>	夢海游 淡路島
9. 22(土)	<p>第2回臨時理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 夢プロジェクト『Awaji Dreams～夢の力が地域に活力を！～』の件【一部審議】</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 夢プロジェクト『Awaji Dreams～夢の力が地域に活力を！～』の件</p>	事務局

月 日	内 容	場 所
10.3(水)	<p>10月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 準会員承認の件</p> <p>(2) 淡路島まつりおどり大会事業報告及び決算報告の件</p> <p>(3) 第56回臨時総会の設営事業報告の件</p> <p>(4) 10月例会の件</p> <p>(5) 夢プロジェクト『Awaji Dreams～夢の力が地域に活力を！～』の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 11月例会の件</p> <p>(2) 12月例会の件</p> <p>(3) 家族忘年会の件</p> <p>(4) 定款変更の件</p>	夢海游 淡路島
10.12(金)	<p>第2回臨時理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 淡路島まつりおどり大会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 家族忘年会の件</p>	事務局
11.7(水)	<p>11月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 9月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 50周年記念事業実行委員会解散の件</p> <p>(3) 11月例会の件</p> <p>(4) 2012 JC Family Smile Partyの件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 12月例会の件</p> <p>(2) 一般社団法人淡路青年会議所 定款の件</p> <p>(3) 第76回通常総会 提出議案の件</p> <p>(4) 第76回通常総会設営の件</p>	夢海游 淡路島
12.5(水)	<p>12月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 8月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 8月例会 ～共に広げよう!!淡路JCの輪～事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 入会案内冊子作成事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(4) 後期入会説明会～淡路JC説明会～事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(5) 10月例会事業報告並びに決算報告の件</p>	夢海游 淡路島

月 日	内 容	場 所
2013. 1. 4 (金)	<p>(6) 夢プロジェクト Awaji Dreams～夢の力が地域を変える～！！ 事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(7) 11 月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(8) 2012 年度預かり金処分の件</p> <p>(9) 2012 年度一般会計収支補正予算の件</p> <p>(10) 2013 年度組織及び委員会構成の件</p> <p>(11) 2013 年度出向者の件</p> <p>(12) 2013 年度一般会計収支予算の件</p> <p>(13) 2013 年度特別会計収支予算の件</p> <p>(14) 2013 年度事業計画の件</p> <p>(15) 2013 年度例会・総会日時の件</p> <p>(16) 2013 年度預かり金の件</p> <p>(17) 12 月例会の件</p> <p>(18) 第 76 回通常総会 提出議案の件</p> <p>(19) 第 76 回通常総会の設営の件</p> <p>(20) 2012 JC Family Smile Party の件</p> <p>13 回理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 対内広報紙の発行事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 12 月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 第 76 回通常総会の設営事業報告の件</p> <p>(4) 2012 JC Family Smile Party 事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(5) ホームページの管理・運営の事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(6) 2012 年度事業報告の件</p> <p>(7) 2012 年度決算報告の件</p> <p>(8) 新入会員承認の件</p> <p>(9) 理事会預かり金の件</p>	夢海游 淡路島

5. 委員会事業報告

理事長公室

担当	池澄 泰彦	委員長	法月 正義	副委員長	滝本 佳範
委員	笹津 寛照、仲野 正倫、藤井 宏昌、時枝 弘記				

総括報告

公室長 法月 正義



まず初めに、創立 50 周年という大きな節目の年に、公室長という大役を拝命させて頂きましたことを心から御礼申し上げます。

予定者段階より、常に上村理事長、池澄専務理事と行動を一緒にさせて頂き、淡路 JC のいろいろな部分を勉強させて頂きました。理事会の設営・運営の部分では前日より準備しているにも関わらず、完璧に出来たことが少なく、当たり前のことをきっちりやりきる難しさを痛感致しました。また今年度は 50 周年記念事業を行う中で歴代理事長を訪問させて頂きいろいろなお話を聞かせて頂いたり、ゴルフ同好会の設営を担当させて頂き、OB の方々とも通年よりたくさん交流させて頂き、勉強させて頂きました。感謝と自己嫌悪の一年半でもありました。

至らない事ばかりだったにも関わらず、上村理事長、池澄専務理事はじめ三役の皆様、理事会構成者の皆様、そしてメンバーの皆様に粘り強く御指導、御鞭撻頂きましたことを深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

また、滝本副公室長を筆頭に、すばらしい公室のメンバーのおかげで 1 年半走り抜けたことを誇りに思います。

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2011. 9. 22	事務局	所信・基本方針・役割分掌、公室長抱負、事業計画	3名
9. 28	事務局	公室長抱負、理事会資料作成	4名
10. 28	事務局	公室長抱負、理事会資料作成	3名
11. 19	事務局	理事会資料作成	5名
2010. 3. 1	事務局	理事会資料作成	4名
3. 6	事務局	理事会資料作成	5名
3. 13	事務局	理事会資料作成	4名
3. 23	事務局	50周年ゴルフコンパ 準備	3名
4. 3	事務局	理事会資料作成	4名
4. 9	事務局	50周年ゴルフコンパ 準備	6名
4. 13	事務局	50周年記念式典 案内状送付	4名
4. 19	事務局	創立50周年記念式典 案内状送付	3名
4. 20	事務局	淡路JC50周年杯ゴルフ同好会 35周年記念ゴルフコンパ 準備	5名
4. 24	事務局	淡路JC50周年杯ゴルフ同好会 35周年記念ゴルフコンパ 準備	4名
5. 1	事務局	11淡路JC50周年杯ゴルフ同好会 35周年記念ゴルフコンパ 準備	3名
5. 16	事務局	理事会資料作成	3名
5. 14	事務局	淡路JC50周年杯ゴルフ同好会 35周年記念ゴルフコンパ 準備	4名
5. 15	洲本 GC	淡路JC50周年杯ゴルフ同好会 35周年記念ゴルフコンパ 準備	4名
5. 16	洲本 GC	淡路JC50周年杯ゴルフ同好会 35周年記念ゴルフコンパ 準備	5名
6. 5	事務局	理事会資料作成	5名
6. 9	事務局	創立50周年記念式典準備	5名
6. 15	事務局	創立50周年記念式典受付準備	4名
7. 3	事務局	理事会資料作成	5名
7. 31	事務局	理事会資料作成	4名
8. 17	事務局	ゴルフ同好会 コンパ 準備	4名
8. 24	事務局	ゴルフ同好会 コンパ 準備	5名
11. 6	事務局	理事会資料作成	6名
11. 27	事務局	卒業生ゴルフコンパ 準備	3名
11. 29	事務局	卒業生ゴルフコンパ 準備	3名
12. 3	事務局	理事会資料作成	5名
12. 4	事務局	理事会資料作成、理事会忘年会準備	5名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2012. 5. 17	洲本 GC	淡路JC50周年杯 ゴルフ同好会 35周年記念ゴルフコンパ	—
9. 19	カメリアヒルズ GC	2012年度 回帰革新杯ゴルフコンパ	—
11. 30	東広野 GC	卒業生ゴルフコンパ	—

総務広報委員会

担当	原田 啓行	委員長	三原 聡	副委員長	片山 竜也
委員	柏木 敏孝、寺岡 良祐、廣井 公壽				

総括報告

委員長 三原 聡



総務広報委員会は予定者の段階から名刺作成、ホームページの作成、総合資料や会員名簿（会員手帳）の原稿依頼・編集・精査と沢山の役割業務があり、1月からもホームページの事業報告の更新や毎月の対内広報紙の発行、そして50周年記念式典に向けての50周年記念冊子、社団法人淡路青年会議所創立50周年記念わんぱく相撲淡路場所、7月選挙例会と走り続けていたように思います。“関わり”をテーマに、ホームページではFacebookを活用して、事業以外にも委員会の内容であったり、当事者でないとわからない行動に対しても自由に投稿して、双方向の情報発信の仕組みを取り入れることができました。実際の投稿者が限られたりするマイナス面もありましたが、メンバーが情報共有できたと思っております。対内広報紙ではメンバー全員が意識共有できるよう取り組んでまいりましたが、紙面の制約や期限、構成力を要する必要があるなど、想像以上に難しく、担当メンバーの想いや苦労を掲載するまでの仕上がりには至らなかったように思います。また、50周年記念冊子では準備力の悪さから基本的な部分ができていなかったこと、記念冊子の中の特別企画の3市長対談では対談のコンセプトや質問事項を考えるのに苦慮したこと、3市長への調整など苦労が多かった分、様々な気づきや自分の能力不足を痛感することになりました。そして、社団法人淡路青年会議所創立50周年記念わんぱく相撲淡路場所では、50周年記念大会として、大会の副題「心はひとつ あきらめない最後まで」にありますように、子どもたちにお互いが心をひとつにして助け合い励まし合う団結力の素晴らしさを体験してもらうために、個人戦だけでなく、今回初めて団体戦を実施させていただきました。団体戦前のワークショップでは、当委員会の想定不足で最初は慌ててしまう場面もありましたが、参加メンバーの臨機応変な対応力のお陰でお互いを応援する場面が見られるなど、団結力の素晴らしさを子ども達に伝えることができたと思っております。

最後になりますが、上村理事長始め原田担当並びに理事の方々にはご指導いただき沢山の気付きを与えていただきました。そして、片山副委員長始め委員会メンバーには本当に一年間助けていただき感謝しております。また、現役メンバーにも取材などのお願いを快く引き受けていただき本当に感謝しております。自分自身この一年間の経験が今後の活動に役立つと信じております。一年間本当にありがとうございました。

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2011. 9. 27	事務局	所信・基本方針・役割分掌、委員長抱負、事業計画他	5名
10. 18	事務局	委員長抱負、事業計画、予算	5名
10. 27	事務局	委員長抱負、事業計画、予算、ホームページ	4名
11. 16	事務局	委員長抱負、事業計画、予算、ホームページ、対内広報紙、総合資料、会員名簿	4名
12. 5	事務局	ホームページ、対内広報紙、総合資料、会員名簿	4名
12. 27	事務局	ホームページ、対内広報紙、総合資料、通常総会、50周年記念冊子	3名
2012. 1. 20	事務局	総合資料、会員名簿、50周年記念冊子、わんぱく相撲	3名
1. 27	事務局	総合資料、会員名簿、50周年記念冊子、わんぱく相撲	3名
2. 21	事務局	50周年記念冊子、わんぱく相撲	4名
3. 1	事務局	50周年記念冊子、わんぱく相撲	3名
3. 16	事務局	50周年記念冊子、わんぱく相撲	3名
3. 29	事務局	会員名簿決算、総合資料決算、50周年記念冊子、わんぱく相撲	5名
4. 10	事務局	50周年記念冊子、わんぱく相撲	5名
4. 16	津名スポーツセンター	わんぱく相撲	4名
4. 25	事務局	50周年記念冊子、わんぱく相撲、7月例会	5名
4. 30	事務局	わんぱく相撲	4名
5. 3	事務局	わんぱく相撲	4名
5. 4	事務局	わんぱく相撲	3名
5. 5	事務局	わんぱく相撲	4名
5. 30	事務局	7月例会、50周年記念冊子	4名
6. 15	事務局	7月例会、	4名
6. 25	事務局	7月例会、わんぱく相撲決算、臨時総会	4名
7. 3	事務局	7月例会、わんぱく相撲決算、臨時総会	3名
7. 9	事務局	7月例会	3名
7. 10	事務局	7月例会	4名
8. 6	事務局	臨時総会、対内広報紙	3名
9. 15	事務局	対内広報紙、臨時総会決算、7月例会決算	3名
10. 3	事務局	対内広報紙	3名
12. 6	事務局	褒賞委員会設置、通常総会	4名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2012. 1. 11	淡路夢泉景	第75回通常総会	43名
5. 6	津名スポーツセンター	社団法人淡路青年会議所創立50周年記念 わんぱく相撲淡路場所	43名
7. 11	洲本文化体育館	7月例会 描け！未来の淡路JC～一人ひとりの選択が未来を切り拓く～	54名
8. 8	洲本文化体育館	第56回臨時総会	43名
12. 15	ホテルニューアワジ	第76回通常総会	44名

交流委員会

担当	原田 啓行	委員長	岸本 篤人	副委員長	中田 勝文
委員	高津 知也、立木 健介、濱口 健一、三原 正行、山下 勝久、西山 高右、波戸 大樹				

総括報告

委員長 岸本 篤人



本年度、交流委員会委員長という役割を頂き、新年会・5月例会・淡路島まつりおどり大会・家族忘年会・LOMナイトと主に対内の事業の企画・設営をさせて頂きました。今までのJC生活の中で何度も参加させて頂いていた事業ではありますが、設営する側の立場では視点が全く変わり、知っているつもりでも、こんなことをしなくてはいけなかったのかと勉強の一年で、事業の最中や事業が終わってから後でこんなようにすれば良かったと反省の一年でした。一年間を無事終えることができたのも原田担当副理事長、中田副委員長をはじめとする委員会メンバーのご協力があったからこそです。委員会メンバーと過ごしたこの一年間は、何事にもかえがたい貴重な経験でした。皆さま本当にありがとうございました。

委員会報告

年月日	場所	内容	出席者数
2011. 9. 27	事務局	所信・基本方針・役割分掌、公室長抱負、事業計画他	5名
10. 4	事務局	委員長抱負	5名
10. 27	事務局	委員長抱負・新年会	3名
11. 7	事務局	新年会	3名
11. 17	事務局	新年会	4名
12. 7	事務局	新年会	4名
12. 22	事務局	新年会	4名
12. 27	事務局	新年会	5名
2012. 1. 6	事務局	新年会	4名
1. 10	事務局	新年会	5名
2. 14	事務局	新年会	5名
3. 1	事務局	5月例会	3名
3. 21	事務局	5月例会	5名
4. 29	事務局	5月例会	4名
5. 7	事務局	5月例会	5名

年月日	場所	内 容	出席者数
5. 30	事務局	5月例会決算、決起大会	4名
6. 14	事務局	島まつり	5名
6. 26	事務局	島まつり	4名
7. 23	事務局	島まつり	5名
7. 26	事務局	島まつり	3名
9. 13	事務局	島まつり決算	5名
10. 18	事務局	JC Family Smile Party	3名
11. 5	事務局	JC Family Smile Party	5名
11. 12	事務局	JC Family Smile Party	3名
12. 3	事務局	JC Family Smile Party	5名
12. 12	事務局	JC Family Smile Party	4名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2012 . 1. 11	夢泉景	新年会	130名
5. 9	文化体育館	5月例会	45名
5. 31	ホテルニューアワジ	決起大会	56名
8. 4	淡路島まつり	淡路島まつり	64名
12. 15	ホテルニューアワジ	JC Family Smile Party	109名

拡大研修委員会

担当	飛松 孝治	委員長	川越 勇輔	副委員長	濱田 眞輔
委員	池尻 明人、磯村 浩史、出口 利一、真野 貴司、村田 泰志、岡本 義弘				

総括報告

委員長 川越 勇輔



まず初めに、メンバーの皆様におかれましては一年間ご指導いただき、また拡大活動にご協力いただき誠にありがとうございました。

拡大研修委員会は一年を通しての拡大活動、研修事業、また50周年記念式典・祝賀会では祝賀会を担当させていただきました。拡大活動においては、当初メンバー全員を巻き込んだ拡大活動がなかなか出来ずにはおりましたが、多くのメンバーのご指導、ご協力をいただきながら、最後まで拡大活動を行うことができました。感謝の念でいっぱいです。自分自身反省することは沢山ありますが、今後の教訓として胸に刻みたいと思います。

研修事業ではここ数年無かった一泊二日での事業を設営することができました。創立50周年記念式典・祝賀会から一週間後というタイトなスケジュールでの開催となりましたが多くのメンバーにご協力いただいたからこそ開催できたと考えます。

創立50周年記念祝賀会では、準備段階から食事や配膳にこだわりを持ち、来ていただいた皆様楽しんで帰っていただけるよう、また他LOMの皆様には淡路島を味わっていただけるよう心がけ設営して参りました。設営していく中でわからないことが多く、それゆえ自分の中では貴重な体験をさせていただくことができました。

最後になりましたが上村理事長、飛松副理事長には多くのご指導、ご鞭撻を賜りました。誠にありがとうございました。また、濱田副委員長をはじめとする拡大研修委員会メンバーの皆様、一年間委員会を盛り立て、ご協力いただきありがとうございました。あらためて関わったすべての方々に感謝申し上げます。

委員会報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2011.9.27	事務局	委員長抱負、役割分掌、事業計画、拡大活動	4名
10.6	事務局	委員長抱負、役割分掌、事業計画、拡大活動	4名
10.18	事務局	委員長抱負、役割分掌、事業計画、拡大活動	5名
10.27	事務局	委員長抱負、役割分掌、事業計画、拡大活動	4名
11.8	事務局	委員長抱負、役割分掌、事業計画、入会案内冊子、拡大活動	5名 4名
11.17	事務局	委員長抱負、役割分掌、事業計画、入会案内冊子、拡大活動	4名
12.5	事務局	入会案内冊子、研修事業、前期入会候補者説明会	4名
12.19	事務局	入会案内冊子、研修事業、前期入会候補者説明会	4名
12.28	事務局	入会案内冊子、研修事業、前期入会候補者説明会	4名
2012.1.13	事務局	研修事業、前期入会候補者説明会、創立50周年記念祝賀会	6名
1.27	事務局	研修事業、前期入会候補者説明会、創立50周年記念祝賀会	6名
2.16	事務局	研修事業、前期入会候補者説明会、創立50周年記念祝賀会	4名
2.28	事務局	研修事業、前期入会候補者説明会、創立50周年記念祝賀会	6名
3.2	事務局	研修事業、前期入会候補者説明会、創立50周年記念祝賀会	2名
3.9	事務局	研修事業、前期入会候補者説明会、創立50周年記念祝賀会	3名
3.15	事務局	前期入会候補者説明会	5名
3.16	事務局	前期入会候補者説明会	5名
3.21	事務局	前期入会候補者説明会	3名
4.13	事務局	拡大活動、研修事業、創立50周年記念祝賀会	3名
4.18	事務局	拡大活動、研修事業、創立50周年記念祝賀会	3名
5.10	事務局	研修事業、創立50周年記念祝賀会、前期入会候補者説明会事業報告並びに決算報告	4名
5.18	事務局	8月例会、研修事業、創立50周年記念祝賀会	2名
5.24	事務局	8月例会、研修事業、創立50周年記念祝賀会	5名
5.30	YMCA 阿南国際海洋センター	研修事業現地調査	4名
6.15	事務局	8月例会、研修事業、創立50周年記念祝賀会	4名
6.24	事務局	8月例会、研修事業、創立50周年記念祝賀会	4名
7.2	事務局	研修事業	6名
7.5	事務局	研修事業	5名
7.6	事務局	研修事業	6名
7.16	事務局	後期入会候補者説明会、8月例会	4名
7.26	事務局	後期入会候補者説明会、8月例会	5名
8.2	事務局	後期入会候補者説明会、8月例会	6名
8.6	事務局	後期入会候補者説明会の件、8月例会	4名
8.7	事務局	8月例会	5名
8.17	事務局	拡大活動、後期入会候補者説明会、研修事業事業報告並びに決算報告	6名

年月日	場所	内 容	出席者数
8. 23	事務局	拡大活動、後期入会候補者説明会、研修事業事業報告並びに決算報告	6名
8. 29	事務局	拡大活動、後期入会候補者説明会	5名
9. 11	事務局	拡大活動、後期入会候補者説明会	5名
9. 18	事務局	拡大活動、後期入会候補者説明会	5名
9. 19	事務局	拡大活動、後期入会候補者説明会	5名
10. 1	事務局	拡大活動	4名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2011. 3. 22	淡路島観光ホテル	前期入会候補者説明会	34名
6. 30	ホテルニューアワジ	創立 50 周年記念祝賀会	283名
7. 7	YMCA 阿南国際海洋センター	研修事業～時は今!目覚めよ!真・淡路 Jaycee～	29名
7. 8			
8. 8	洲本市文化体育館	8 月例会	50名
9. 20	淡路島観光ホテル	後期入会候補者説明会～淡路 JC 説明会～	44名

例会委員会

担当	飛松 孝治	委員長	柴田 大介	副委員長	福富 健介
委員	浅井 克也、久米 基志、小谷 敦朗、齋藤 新太、美摩 武臣、柳 弘一郎、横山 泰明				

総括報告

委員長 柴田 大介



2012年度12回の例会にご出席して頂きましたメンバーの皆様ありがとうございました。まずもってお礼申し上げます。年当初掲げさせて頂きました。目標でありました。「力の追求と結集」をテーマに例会の企画・運営を行ってまいりましたが内容重視の運営・設営になってしまいセレモニーにおける不備・リハーサル不足により皆様には大変ご迷惑をおかけしました。基本的な動作を完璧にこなすことの難しさが非常に大変だということが身に染みて感じる事ができました。また当委員会メンバーにおいては一年間「一笑懸命」徹底に関わり合い貴重なお時間を費やして頂き感謝の気持ちでいっぱいであり、「良き時間」を例会を通じて共有できたと私自身は思っております。そして福富副委員長においては委員会の雰囲気づくりまた私のわがままに付き合っ頂き良いイメージでの委員会が設営でき本当にありがとうございました。最後になりますがこのような貴重な体験をさせて頂いたことに心よりお礼申し上げます統括報告とさせていただきます。ありがとうございました。

委員会報告

年月日	場所	内容	出席者数
2011.09.22	淡路島観光ホテル	合同委員会 委員長抱負 年間スケジュール	9名
10.6	事務局	委員長抱負、年間スケジュール	6名
10.17	事務局	委員長抱負、年間スケジュール	4名
10.27	事務局	委員長抱負、年間スケジュール	4名
11.8	事務局	委員長抱負、年間スケジュール	6名
11.17	事務局	委員長抱負、年間スケジュール、1月例会	5名
11.24	事務局	委員長抱負、年間スケジュール、1月例会	4名
12.6	事務局	委員長抱負、年間スケジュール、1月例会	6名
12.15	事務局	1月例会、2月例会	5名
2012.1.5	事務局	1月例会、2月例会	7名
1.10	事務局	1月例会	6名
1.17	事務局	2月例会、3月例会	6名
1.24	事務局	2月例会、3月例会	5名
2.2	事務局	2月例会、3月例会	5名
2.6	事務局	2月例会	6名
2.13	事務局	3月例会、4月例会	4名

年月日	場 所	内 容	出席者数
2. 23	五色中学校	3月例会、4月例会	5名
3. 9	事務局	3月例会、4月例会	6名
3. 12	事務局	3月例会、	6名
3. 21	事務局	4月例会、5月例会	5名
3. 29	事務局	4月例会、5月例会	6名
4. 3	事務局	4月例会	5名
4. 10	事務局	4月例会	5名
4. 20	事務局	5月例会	5名
4. 29	事務局	5月例会	7名
5. 7	事務局	5月例会	6名
5. 23	事務局	50周年記念式典	6名
6. 4	事務局	6月例会、50周年記念式典	6名
6. 11	事務局	6月例会、50周年記念式典	8名
6. 22	事務局	50周年記念式典	6名
7. 2	事務局	7月例会、8月例会	6名
7. 9	事務局	7月例会	4名
7. 26	事務局	8月例会、9月例会	7名
8. 6	事務局	8月例会、9月例会	8名
8. 9	事務局	8月例会	5名
8. 17	事務局	9月例会、10月例会、11月例会	5名
8. 21	事務局	9月例会、10月例会、11月例会	6名
9. 4	事務局	9月例会、10月例会、11月例会	8名
9. 10	事務局	9月例会、	7名
9. 25	事務局	10月例会、11月例会	3名
9. 28	夢海游 淡路島	10月例会、11月例会	5名
10. 9	事務局	10月例会	6名
10. 23	事務局	11月例会	4名
10. 30	事務局	11月例会	5名
11. 8	事務局	11月例会	4名
11. 13	事務局	11月例会	5名
12. 7	事務局	12月例会	5名

事業報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2012. 1. 11	淡路夢泉景	1月例会	64名
2. 8	洲本市文化体育館	2月例会	44名
3. 14	洲本市文化体育館	3月例会	49名
4. 11	海月館	4月例会	57名
5. 9	洲本市文化体育館	5月例会	45名
6. 13	洲本市文化体育館	6月例会	52名
7. 11	洲本市文化体育館	7月例会	54名
8. 8	洲本市文化体育館	8月例会	55名
9. 12	洲本市文化体育館	9月例会	49名
10. 10	洲本市文化体育館	10月例会	52名
11. 14	夢海游淡路島	11月例会	60名
12. 15	ホテルニューアワジ	12月例会	54名

社会開発委員会

担当	向内 英光	委員長	中村 篤弘	副委員長	出田 裕重
委員	新家 春輝、辰野 慶太、寺西 正典、平川 智己、藤井 実二、三倉 克仁、奥畑 政昭、長船 亘祐				

総括報告

委員長 中村 篤弘



まずもって2012年度の社会開発事業が無事に終えることができましたことをこの場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。振り返ってみますと、予定者の段階より調査・研究を行い、現状の淡路島には何が必要なのか、何をどうすれば明るい豊かな淡路島を創造することができるのかを考えてきました。平成の大合併後、我々の住む淡路島はどのような変化をもたらしたのか、また今後どうなっていくのかを検証し、今後の在り方についてメンバーで共有を図ったものの、淡路島民の方々へお伝えするには至りませんでした。その結果、社会開発事業についても当初の考えより軌道修正をしなければなりません。それに際し委員会メンバーのみならず、多くの方にご迷惑をお掛けしてしまいました。路頭に迷いながら見えてきたものが、この度キーワードとなりました「夢」であります。我々、社団法人淡路青年会議所は「淡路はひとつ」という理念の基、明るい豊かな淡路島を実現させるといったビジョンを持ち行動しております。このビジョンがあるからこそ、社団法人淡路青年会議所の意義があり、50年という歴史を創り上げてこられたと考えます。淡路島についても同様と考え、今後の淡路島をよりよくしていくのは島民一人ひとりであり、その島民一人ひとりが夢を持ち、情熱を傾け行動することによって、淡路島が変革されていくに違いないと確信をしております。本年50周年を迎える年のスローガンとして「回帰革新」が掲げられ、今一度我々現役メンバーとして原点回帰し、そして新たな発想をもって行動していくことが重要であります。この度の事業を通じ、改めて「夢」や「ビジョン」を明確にし、今後より一層の活発な活動・運動が行われていくに違いありません。

最後になりますが、2012年度このような機会を与えてくださいました上村理事長をはじめ、メンバーの皆様には感謝し、今年度培ってきたことを今後のJC生活へと活かしてまいりたいと考えております。本当にありがとうございました。

委員会報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2011.9.22	事務局	抱負、事業計画、事業予算、年間上程スケジュール	6名
10.6	事務局	抱負、事業計画、事業予算、年間上程スケジュール	2名
10.26	事務局	抱負、事業計画、事業予算、年間上程スケジュール	4名
11.10	事務局	抱負、事業計画、事業予算、年間上程スケジュール	3名
12.5	事務局	社会開発事業の件 抱負、事業計画、事業予算、年間上程スケジュール	5名
2012.1.12	事務局	50周年記念品 平成の大合併の検証、6月例会、社会開発事業、	6名
1.18	事務局	50周年記念品 平成の大合併の検証、6月例会、社会開発事業、	4名
1.25	事務局	50周年記念品 平成の大合併の検証、6月例会、社会開発事業、	6名
2.13	事務局	50周年記念品 平成の大合併の検証、6月例会、社会開発事業、	7名
2.22	事務局	50周年記念品 平成の大合併の検証、6月例会、社会開発事業、	4名
3.9	事務局	50周年記念品 平成の大合併の検証、6月例会、社会開発事業、	6名
3.28	事務局	50周年記念品 平成の大合併の検証、6月例会、社会開発事業、	5名
4.6	事務局	6月例会、社会開発事業、50周年記念品	2名
4.29	事務局	6月例会、社会開発事業、50周年記念品	5名
5.11	事務局	6月例会、社会開発事業、50周年記念品	5名
5.23	事務局	6月例会、社会開発事業、50周年記念品	4名
6.8	事務局	6月例会、社会開発事業、記念品包装	6名
6.11	事務局	6月例会、社会開発事業、記念品包装	5名
6.12	事務局	6月例会リハーサル	6名
6.20	事務局	6月例会決算、社会開発事業、記念品包装	9名
6.27	事務局	6月例会決算、社会開発事業、記念品包装	5名
7.26	事務局	6月例会決算、社会開発事業	4名
8.2	事務局	社会開発事業	7名
8.9	事務局	社会開発事業	4名
8.23	事務局	社会開発事業	6名
8.29	事務局	社会開発事業	3名
9.7	事務局	社会開発事業	4名
9.19	事務局	社会開発事業	4名
9.26	事務局	社会開発事業	6名
10.9	事務局	社会開発事業	3名
10.14	事務局他	チラシ配布、社会開発事業	18名
10.18	事務局	社会開発事業	5名
10.20	事務局他	チラシ配布、社会開発事業	5名
10.22	事務局	社会開発事業	4名
10.23	ONOKORO	ステージ設営	4名
10.24	ONOKORO、事務局	ステージ設営、社会開発事業	7名
10.25	ONOKORO、事務局	ステージ設営、社会開発事業	5名

年月日	場所	内容	出席者数
10.26	ONOKORO、事務局	ステージ設営、リハーサル、社会開発事業	33名
11.9	事務局	社会開発事業決算	7名
11.29	事務局	社会開発事業決算	3名

事業報告

年月日	場所	内容	出席者数
2012.6.13	洲本市文化体育館	6月例会 淡路はひとつ! ~One for AWAJI~	52名
10.27	ONOKORO	夢プロジェクト Awaji Dreams~夢の力が地域を変える!!~	3,000名

50 周年特別委員会

担当	木原 慎陽	委員長	大畑 一也	副委員長	有賀 雄一
委員	沖田 和良、河井 義樹、高見 恵文、長尾 泰宏、吉井 崇行				

総括報告

委員長 大畑 一也



50 周年という、半世紀を迎えた節目としての年に、今まで青年会議所運動にご協力頂いた各種団体、行政の皆様、そして淡路 JC の活動を行ってこられました諸先輩方に、感謝を示すとともに、これからも淡路 JC が明るい豊かな淡路島の実現のために、行動することをお伝えすることができました。

50 周年記念式典・祝賀会当日に至るまで、数多くの委員会、実行委員会を重ね、全メンバーの力を結集してまとまり事業を

行ないました。皆様のご協力がなければ行なうことができず、感謝の念でいっぱいです。また、式典に至る過程の中で、理事長とともに歴代理事長へ挨拶に回り、番所 0B 会長には 4 月の 0B 合同例会の段階から多くの意見を頂き、また特別会員の皆様とも多くの関わりを持つ事ができた 1 年でした。

創立 50 周年記念式典では、関わりを持って頂いている他団体、行政の皆様への感謝、活動を支えてこられた特別会員の皆様への感謝、日頃より仲間として、そして競い合える友人としてお付き合い頂いている他 LOM の皆様への感謝を伝えることができました。

祝賀会では、メンバーによる、心のつながりが持てるおもてなしを最大限に行なえる設営を心がけ、淡路 JC らしく真正面から酌み交わすことの出来る座敷にて精一杯のおもてなしをすることが出来ました。

周年はメンバーのみならず、特別会員の皆様、対外的な関係各所の皆様と、とにかく関わりが重要であると痛感し、またこれほど多くの方々と関わらせて頂ける感謝に気付かせて頂きました。

ご協力いただきました多くの皆様、委員会メンバー、そして、木原室長、本当にありがとうございました。

委員会報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2011. 9. 22	淡路島観光ホテル	所信・基本方針・役割分掌、委員長抱負、事業計画他	8名
9. 29	事務局	基本方針・役割分掌、委員長抱負、事業計画他	6名
10. 17	事務局	基本方針・役割分掌、委員長抱負、事業計画他	6名
11. 8	事務局	基本方針・役割分掌、委員長抱負、事業計画他	5名
11. 24	事務局	実行委員会、4月例会他	6名
12. 6	事務局	実行委員会、4月例会他	5名
12. 19	事務局	実行委員会、4月例会他	5名
2012. 1. 13	事務局	実行委員会、4月例会他	5名
1. 18	事務局	実行委員会、4月例会他	5名
1. 26	事務局	実行委員会、4月例会他	4名
2. 10	事務局	実行委員会、4月例会他	5名
2. 21	事務局	実行委員会、4月例会他	5名
3. 16	事務局	実行委員会、4月例会他	5名
3. 30	海月館	実行委員会、4月例会他	5名
4. 3	事務局	実行委員会、4月例会他	5名
4. 10	海月館	4月例会他	5名
5. 1	事務局	実行委員会他	5名
5. 18	事務局	実行委員会他	4名
5. 28	ホテルニューアワジ	実行委員会他	5名
6. 11	ホテルニューアワジ	実行委員会他	5名
6. 15	ホテルニューアワジ	実行委員会他	5名
8. 7	事務局	実行委員会他	4名
9. 26	事務局	実行委員会他	5名

事業報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2012. 4. 11	海月館	創立50周年記念4月合同例会 淡路心和 ～淡路JC 50年の軌跡～	73名
6. 30	ホテルニューアワジ	創立50周年記念式典・祝賀会	344名

6. 委員会別事業決算明細

委員会別事業決算明細(1)

委員会名	事業名称	収入の部		支出の部		差額 (A) - (B)	処分方法			
		科目	予算額	決算額 (A)	科目			予算額	決算額 (B)	
交流委員会	合計		3,760,000	3,931,000		3,760,000	3,876,000	55,000		
	新年会	委員会事業費	300,000	300,000	会場設営費	274,800	271,464			委員会事業費に繰り戻す
		登録料収入	1,710,000	1,710,000	広告費	6,061	5,663			
					懇親会費	1,710,000	1,710,000			
					雑費	10,350	7,998			
					予備費	8,789	798			
		小計	2,010,000	2,010,000		2,010,000	1,995,923	14,077		
	5月例会	委員会事業費	60,000	60,000	会場設営費	12,100	6,570			委員会事業費に繰り戻す
					講師関係費	35,250	17,625			
					資料作成費	798	798			
					保険料	9,600	6,900			
					予備費	2,252	0			
		小計	60,000	60,000		60,000	31,893	28,107		
	淡路島まつり踊り大会	委員会事業費	200,000	200,000	会場設営費	175,000	170,146			委員会事業費に繰り戻す
		登録料収入	230,000	230,000	資料作成費	798	798			
		登録料収入	132,000	132,000	広告費	320	240			
					懇親会費	362,000	362,000			
					保険料	5,000	4,000			
				雑費	12,000	12,000				
				予備費	6,882	0				
		小計	562,000	562,000		562,000	549,184	12,816		
	クリスマス家族忘年会	委員会事業費	450,000	450,000	会場設営費	74,250	74,250			
		登録料収入	590,000	710,000	資料作成費	798	798			
		55,000	70,000	懇親会費	913,525	1,084,525				
		33,000	69,000	参加記念品	116,100	116,100				
				印刷費	5,670	5,670				
				通信費	4,320	4,320				
				雑費	4,000	4,000				
				予備費	9,337	9,337				
	小計	1,128,000	1,299,000		1,128,000	1,299,000	0			
拡大研修委員会	合計		133,000	133,000		133,000	125,713	7,287		
	前期入会候補者説明会	委員会事業費	28,000	28,000	会場設営費	26,250	26,250			委員会事業費に繰り戻す
					資料作成費	798	798			
					予備費	952	0			
		小計	28,000	28,000		28,000	27,048	952		
	後期入会候補者説明会	委員会事業費	28,000	28,000	会場設営費	26,250	26,250			委員会事業費に繰り戻す
					資料作成費	798	798			
					予備費	952	0			
		小計	28,000	28,000		28,000	27,048	952		
	入会案内冊子の作成	委員会事業費	58,000	58,000	資料作成費	56,500	56,500			委員会事業費に繰り戻す
					予備費	1,500	0			
		小計	58,000	58,000		58,000	56,500	1,500		
	研修事業	委員会事業費	18,000	18,000	会場設営費	5,250	5,250			委員会事業費に繰り戻す
					資料作成費	798	798			
					保険料	6,336	2,871			
					雑費	5,400	5,400			
					予備費	216	0			
	小計	18,000	18,000		18,000	14,319	3,681			
8月例会	委員会事業費	1,000	1,000	資料作成費	798	798			委員会事業費に繰り戻す	
				予備費	202	0				
	小計	1,000	1,000		1,000	798	202			

委員会別事業決算明細(2)

委員会名	事業名称	収入の部		支出の部		差額 (A) - (B)	処分方法		
		科目	予算額	決算額 (A)	科目			予算額	決算額 (B)
総務・広報委員会	合計		1,075,000	1,075,000		1,075,000	1,063,909	11,091	
総務・広報委員会	総合資料作成	委員会事業費	1,000	1,000	資料作成費	870	797		委員会事業費に繰り戻す
		予備費			予備費	130	0		
	小計	1,000	1,000	小計	1,000	797	203		
	ホームページの立ち上げ 管理・運営	委員会事業費	165,000	165,000	資料作成費	160,000	160,000		
		予備費			予備費	5,000	5,000		
	小計	165,000	165,000	小計	165,000	165,000	0		
	対内広報紙発行	委員会事業費	448,000	448,000	資料作成費	437,000	437,000		
		予備費			予備費	11,000	11,000		
	小計	448,000	448,000	小計	448,000	448,000	0		
	会員名簿作成	委員会事業費	330,000	330,000	資料作成費	325,000	325,000		委員会事業費に繰り戻す
		予備費			予備費	5,000			
	小計	330,000	330,000	小計	330,000	325,000	5,000		
	7月例会	委員会事業費	1,000	1,000	資料作成費	798	798		委員会事業費に繰り戻す
		予備費			予備費	202	0		
	小計	1,000	1,000	小計	1,000	798	202		
第18回わんぱく相撲 淡路場所	委員会事業費	130,000	130,000	会場設営費	27,850	27,850		委員会事業費に繰り戻す	
				広告費	13,566	13,566			
				保険料	10,000	4,300			
				参加記念品	74,361	76,177			
				通信費	80	80			
				事務消耗品費	210	0			
				予備費	3,933	2,341			
	小計	130,000	130,000	小計	130,000	124,314	5,686		
社会開発委員会	合計		2,730,000	2,730,000		2,730,000	2,645,802	84,198	
6月例会	委員会事業費	2,000	2,000	会場設営費	1,000	0		委員会事業費に繰り戻す	
				資料作成費	798	798			
	予備費			予備費	202	0			
小計	2,000	2,000	小計	2,000	798	1,202			
社会開発事業	委員会事業費	2,430,000	2,430,000	会場設営費	1,020,290	1,002,772		委員会事業費に繰り戻す	
		298,000	298,000	講師関係費	1,183,550	1,145,750			
				資料作成費	7,980	7,980			
				広告費	428,400	428,400			
				保険料	30,000	30,000			
				通信費	2,640	2,310			
				雑費	30,000	27,792			
	予備費			予備費	25,140				
小計	2,728,000	2,728,000	小計	2,728,000	2,645,004	82,996			
50周年特別委員会	合計		2,800,000	2,800,000		2,800,000	2,798,148	1,852	
4月例会	委員会事業費	50,000	50,000	会場設営費	17,950	17,950		委員会事業費に繰り戻す	
				講師関係費	29,400	29,400			
				資料作成費	798	798			
	予備費			予備費	1,852	0			
小計	50,000	50,000	小計	50,000	48,148	1,852			
50周年記念式典・祝賀会 実行委員会拠出	委員会事業費	2,750,000	2,750,000	拠出金	2,750,000	2,750,000			
	小計	2,750,000	2,750,000	小計	2,750,000	2,750,000			

委員会別事業決算明細(3)

委員会名	事業名称	収入の部		支出の部			差額 (A) - (B)	処分方法	
		科目	予算額	決算額 (A)	科目	予算額			決算額 (B)
例会委員会	合計		665,000	665,000		665,000	635,188	29,812	
	1月例会	委員会事業費	38,600	38,600	会場設営費	36,750	36,750		委員会事業費に繰り戻す
					資料作成費	798	798		
		小計	38,600	38,600	予備費	1,052	0	1,052	
	2月例会	委員会事業費	239,500	239,500	会場設営費	26,500	26,500		委員会事業費に繰り戻す
					講師関係費	205,250	205,100		
					資料作成費	798	798		
					通信費	240	160		
		小計	239,500	239,500	予備費	6,712	0	6,942	
	3月例会	委員会事業費	22,700	22,700	会場設営費	21,250	19,250		委員会事業費に繰り戻す
					資料作成費	798	798		
		小計	22,700	22,700	予備費	652	0	2,652	
	4月例会	委員会事業費	27,000	27,000	会場設営費	26,250	26,250		委員会事業費に繰り戻す
		小計	27,000	27,000	予備費	750	0	750	
	5月例会	委員会事業費	23,900	23,900	会場設営費	23,250	21,250		委員会事業費に繰り戻す
		小計	23,900	23,900	予備費	650	0	2,650	
	6月例会	委員会事業費	21,900	21,900	会場設営費	21,250	20,750		委員会事業費に繰り戻す
		小計	21,900	21,900	予備費	650	0	1,150	
	7月例会	委員会事業費	21,900	21,900	会場設営費	21,250	19,250		委員会事業費に繰り戻す
		小計	21,900	21,900	予備費	650	0	2,650	
	8月例会	委員会事業費	21,900	21,900	会場設営費	21,250	18,250		委員会事業費に繰り戻す
					資料作成費	0	0		
		小計	21,900	21,900	予備費	650	0	3,650	
	9月例会	委員会事業費	55,800	55,800	会場設営費	40,000	38,000		委員会事業費に繰り戻す
					講師関係費	13,150	13,150		
					資料作成費	798	798		
					通信費	240	240		
	小計	55,800	55,800	予備費	1,612	0	3,612		
10月例会	委員会事業費	22,700	22,700	会場設営費	21,250	21,250		委員会事業費に繰り戻す	
				資料作成費	798	798			
	小計	22,700	22,700	予備費	652	0	652		
11月例会	委員会事業費	141,300	141,300	会場設営費	38,850	38,850		委員会事業費に繰り戻す	
				資料作成費	71,938	71,938			
				参加記念品	26,460	26,460			
	小計	141,300	141,300	予備費	4,052	0	4,052		
12月例会	委員会事業費	27,800	27,800	会場設営費	26,250	26,250			
				資料作成費	798	798			
	小計	27,800	27,800	予備費	752	752	0		

7. 直前理事長報告

直前理事長 畑野 信行



2012年度は、上村理事長の掲げる「回帰革新」のスローガンの基、明るい豊かな淡路島づくり目指し邁進してまいりました。2011年度は理事長として自らの信じる淡路島創造に全力を尽くしてまいった中、その経験を活かしつつ活動してきた所存でございます。

本年は創立50周年を迎える中、実行委員長という大役を拝命し、半世紀の重みを痛い程に感じながらの前半でした。50年間の踏まえた新たな51年目を考えると重圧溢れる経験をさせていただきました。上村理事長は更に大きな責務を抱えながらの活動であったことと重々感じました。今一度思い返してみれば、見えない何かに向かい無我夢中で走ってきた前半だったようにも感じました。

後半は各委員会が各々で見せ場をつくり、委員会色を発揮するがための時期だったようにも感じました。50周年祝賀会で得た様々な事柄をどう活かすか、どうミックスさせるかといった部分に着眼点を置き、直前という立場から見させていただきました。年度初めから大きく成長したメンバーを見ることの憂いを感じることができた後半だったように感じました。

私は本年をもって卒業いたしますが、ここで活動した16年間は私の宝です。育てて頂いた事に対する例えようもない感謝の気持ちと今日まで共に活動してきたメンバーへの敬意をしっかりと胸に刻み、社団法人淡路青年会議所を後にしたいと思います。何かのセリフを真似る形ではありますが、「神様は乗り越えられる試練しか与えない」のです。試練を力に、力を勇気に変え、これからもなくてはならない団体としてご活躍を期待いたします。皆さま、心より感謝いたします。ありがとうございました。

8. 特別顧問報告

特別顧問 後藤 英範



2012年度、上村理事長をはじめとする理事、そしてメンバーの皆様、本当にお疲れ様でした。

50周年という節目となる本年、特別顧問として今まで経験をしたことのない立場で、社団法人淡路青年会議所に関わらせて頂いたことに感謝申し上げます。

上村理事長のスローガン「回帰革新」の下、各委員会がそれぞれの立場で、代々受け継がれてきた伝統を重んじながら新しいことにも挑戦するといった精神を持って活動を展開し、共に成長を遂げてまいりました。どうぞ本年の経験を本年だけに留めることなく、次代にも繋げて下さい。

私は来年度で卒業を迎えますが、我々の青年の運動はまだまだ続きます。混沌とした時代であるからこそ、我々青年が情熱に溢れる変革の能動者としての気概を胸に、地に足をつけた誠実な活動を展開し、淡路島の輝ける未来を切り拓いていかなければなりません。

最後になりましたが、メンバー諸兄の今後一層のご活躍をご祈念申し上げ、報告と致します。

9. 出 向 報 告

公益社団法人日本青年会議所 アジアアライアンス確立委員会

委 員 齋藤 新太



公益社団法人日本青年会議所 アジアアライアンス確立委員会に出向させていただきました。当委員会は、民間外交でアジアと交流し、アジアを一つにすることを目的とする委員会です。政治ではできない、民間の視点からの交流事業を企画して取り組んで参りました。日本青年会議所への出向は初めてで不安もありましたが、今までにない新たな学び、そして友人の輪を広げることができました。このような機会を与えて頂いた事に感謝しまして、報告と致します。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2012. 1. 20	京都	第 1 回委員会
2. 6	福井	第 2 回委員会
6. 9	香港	ASPAC 香港大会 ジャパンナイト

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会

グローバルリーダー育成委員会

委員 廣井 公壽



本年度、近畿地区協議会 グローバルリーダー育成委員会に出向させて頂きました。委員会では、ASPAC 香港大会、JCI 世界会議台北大会のジャパンナイトでブース出展に携わり、世界各国の人と交流を深めて参りました。また、7月にはベトナムのホーチミンでGTS（グローバルリーダー育成事業）を行ってきました。内容としては、子供達に日本の遊びや、相撲などを教え、最後にちゃんこ鍋を振舞いました。わんぱく相撲淡路場所の委員長経験者として、また相撲に携われる喜びと同時に、つくづく相撲とは切っても切れない関係にあるのかと感じました。異国の地での事業は、想像以上の暑さ、臭さ、汚さ、コンディションの悪さ等予想外の展開ではありましたが、海外ならではの事業であり、今までにない新たな学びを経験することができました。このような機会を与えて頂いた事に感謝しまして、報告と致します。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
1. 26	松原 3F	第 1 回委員会
2. 10	心齋橋	第 2 回委員会
3. 2	松原 3F	第 3 回委員会
4. 6	高砂	第 4 回委員会
6. 9	香港	ASPAC 香港大会 ジャパンナイト
6. 27	尼崎	第 6 回委員会
7. 4	ホーチミン	GTS（グローバルリーダー育成事業）
10. 15	伊丹	第 10 回委員会
11. 21	台北	JCI 世界会議 台北大会 ジャパンナイト

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

書記

出口 利一



2012年度 兵庫ブロック協議会へ書記として出向させて頂きました。書記とは淡路JCでいう理事長公室の役割に似ており、兵庫ブロック会長に恥をかかさぬよう運営専務と書記団が共に協力し、会議が滞りなく閉会する事を使命に運営補佐を行いました。会場設営を行う中で、書記長、他LOMから出向されている書記の皆様と交流が図れ、会議後の懇親会では兵庫ブロック役員団の方々とも多くの情報交換が出来た事は私にとって大きな経験となりました。このような機会を与えて下さった方々に感謝を申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

書記

仲野 正倫



一年間書記として出向させて頂きましてありがとうございました。ブロック運営の裏方として色々なことを学ばせていただきました。

次年度は、ラストイヤーですが今年度学ばせていただいたことを、生かして行きたいと思います。本当にありがとうございました。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2011. 9. 11	0AA はりまハイツ	第 1 回正副会長会議及び役員候補者会議
9. 19	加古川商工会議所	第 2 回正副会長会議及び役員候補者会議
10. 15	加古川商工会議所	第 3 回正副会長会議及び役員候補者会議
10. 30	加古川ブラザホテル	第 4 回正副会長会議及び役員候補者会議
10. 30	加古川ブラザホテル	第 1 回理事長予定者会議
11. 7	加古川商工会議所	第 5 回正副会長会議及び役員候補者会議
11. 20	神戸ポートピアホテル	第 2 回理事長予定者会議
12. 19	加古川商工会議所	第 6 回正副会長会議及び役員候補者会議
2012. 1. 14	西宮神社	第 1 回正副会長会議及び役員会議
2. 4	神戸ポートピアホテル	第 1 回会員会議所会議
2. 11	神戸ラッセホール	第 2 回正副会長会議及び役員会議
2. 22	幸徳殿	エリア別事業説明会 但馬
2. 27	ラヴィーナ相生	エリア別事業説明会 西播
2. 29	グリーンピア三木	エリア別事業説明会 播淡
3. 7	ささやま荘	エリア別事業説明会 篠山
3. 14	オリエンタルホテル	エリア別事業説明会 神戸
3. 17	サンシャイン青山	第 3 回正副会長会議及び役員会議
3. 24	HOTEL KOSHO	第 2 回会員会議所会議
4. 9	伊丹シティーホテル	エリア別事業説明会 阪神
4. 14	川西商工会議所	第 4 回正副会長会議及び役員会議
4. 28	三木ホースランドパーク	第 3 回会員会議所会議
5. 20	JA 丹波ひかみ 柏原支店	第 5 回正副会長会議及び役員会議
6. 16	芦屋市民センター	第 6 回正副会長会議及び役員会議
6. 23	ユニットピアささやま	第 4 回会員会議所会議
8. 5	有馬 古泉閣	第 7 回正副会長会議及び役員会議
8. 25	ユニットピアささやま	会員大会 篠山大会
9. 15	人丸花壇	第 8 回正副会長会議及び役員会議
10. 6	加古川商工会議所	第 9 回正副会長会議及び役員会議
10. 27	西播磨県民局	第 5 回会員会議所会議
11. 11	尼崎商工会議所	第 10 回正副会長会議及び役員会議
11. 24	神戸ポートピアホテル	第 6 回会員会議所会議
12. 22	淡路島観光ホテル	第 11 回正副会長会議及び役員会議

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

震災復興推進会議

議 員 木原 慎陽



卒業年度である本年、震災復興推進会議に出向させて頂きました。全委員会に出席し社団法人淡路青年会議所の出向者としての目的は達成出来たと思います。ありがとうございました。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2011. 11. 20	神戸ポートピアホテル	予定者委員会
2012. 1. 28	尼崎商工会館	第1回委員会
2012. 2. 4	神戸ポートピアホテル	第1回合同委員会
2012. 3. 3	淡路島観光ホテル	第2回委員会
2012. 4. 7	三木商工会館	第3回委員会
2012. 5. 8	神戸県民会館	第4回委員会
2012. 6. 7	篠山ユニットピアささやま	第5回委員会
2012. 7. 11	芦屋商工会館	第6回委員会
2012. 8. 25	篠山ユニットピアささやま	第7回委員会・会員大会
2012. 9. 5	神戸県公館	第8回委員会・知事との懇談会
2012. 11. 15	神戸三宮	第9回委員

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫の未来創造会議

議 員 向 内 英 光



本年度、兵庫ブロック協議会 兵庫の未来創造会議に出向させていただきました。この会議体ではブロックのメイン事業とされる憲法アクション Day' s と中学生県議会の2大事業経験させていただきました。

憲法事業は2年前に本年度理事長である上村君がブロック議長の際に議会メンバーとして体験しておりましたが、長が変われば進め方や出来上がりが違うことを感じ、リーダーシップの重要性を再認識させていただきました。中学生県議会においては、対外といことで中学校への打ち合わせを含め、中学生とのコミュニケーションを図る良い機会でありました。自分の学生時代と比べてしまうと、いささか違和感を感じるの時代は確実に流れているということも実感いたしました。

そして、人が集まり一つのことを成功へと導くにはそれぞれの立場で、それぞれの役割を確実にこなし、事前準備をしっかりと行えば形になることも体験させていただきました。我々は単年度制の中で、その年度毎に役割があり経験できることは、青年会議所という組織の良いところであると感じ、今後のJC活動において本年度体験したことを活かしていきたいと考えます。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2011. 11. 20	ポートピアホテル（神戸）	予定者委員会
2012. 2. 4	ポートピアホテル（神戸）	第1回合同委員会
3. 2	青少年会館（神戸）	第2回委員会
4. 8	まちづくり協働センター	第3回委員会
5. 1	（三田）	第4回委員会
5. 6	神戸勤労会館（神戸）	ブロック事業 ～憲法アクション Day' s in HYOGO～
6. 2	神戸電子専門学校（神戸）	第5回委員会
6. 24	神戸勤労会館（神戸）	エリア別ミーティング
7. 23	明石商工会館（明石）	中学生県議会
9. 8	兵庫県議会（神戸）	第7回委員会
12. 1	ホテルいさご（神戸）	第8回委員会
	肉の入江（神戸）	

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区兵庫ブロック協議会

会員拡大推進委員会

委員 飛松 孝治



本年度、会員拡大推進委員会へ出向させて頂きました。委員会では各 LOM の手法や実績を発表しあい互いに水平展開することで拡大に関する意識の高揚や問題点の共有を図ることが出来ました。また女性会員の増強についても積極的に取り組み「兵庫なでしこサミット」を開催致しました。

会員大会篠山大会の分科会では「あすエネ！ in 兵庫」を開催しエネルギー政策のプライオリティに対して経済と環境の視点で議論を行いました。

一年間を通して非常に貴重な経験をさせて頂きました。ありがとうございました。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2011. 11. 20	神戸ポートピアホテル	予定者委員会
2012. 2. 04	神戸ポートピアホテル	第 1 回合同委員会
3. 02	三木市民活動センター	第 2 回委員会
3. 31	神戸トアロードパーキング会議室	第 3 回委員会
5. 25	赤穂商工会議所	第 4 回委員会
7. 17	高砂市役所センター	第 5 回委員会
8. 22	篠山ユニットピアささやま	第 6 回委員会

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区兵庫ブロック協議会

会員大会運営委員会

委員 原田 啓行



この度、会員大会運営委員会に出向させて頂き、イベント・フォーラムの設営や運営手法についてあらためて気づくことが多く大変勉強になりました。出向先の委員長は、とても覇気と勢い、そしてリーダーシップを持った方であり、そこを中心として巻き起こる組織の一体感というものを体験し、考えさせられることが多くありました。フォーラムでは原田伸郎氏をご講演され、苗字が同じということだけで、私が司会に抜擢されるという経緯もありましたが、それも委員長の手の内であり、その手の内で踊った自分があるなどという、いかにもJCらしい経験を出向先でできたことは、今後の記憶にもずっと残っていくものと感じます。理事長を含めお世話になった方々、一年間ありがとうございました。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2011. 11. 20	ポートピアホテル（神戸）	予定者委員会
2012. 1. 12	篠山	第1回委員会
2. 4	神戸	第2回委員会
3. 16	豊岡	第3回委員会
4. 21	明石	第4回委員会
5. 26	三木	第5回委員会
6. 18	篠山	第6回委員会
7. 28	篠山	第7回委員会
8. 11	篠山	第8回委員会
8. 25	篠山ユニットピアささやま	第45回会員大会篠山大会
9. 19	龍野	第9回委員会
10. 29	宝塚	第10回委員会
11. 30	豊岡	第11回委員会

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区兵庫ブロック協議会

JC 運動発信委員会

委員 大畑 一也



当委員会は兵庫ブロック協議会における広報活動を担当する役割がありました。ホームページの作成、管理を行なうと共に、近畿地区大会天理大会では兵庫ブースを出展して、兵庫の各地より食材を取り揃えて作った「サスティナルバーガー」（淡路島はたまねぎを出品）を振舞い、PR活動を行いました。その他、兵庫ブロックの絆を深めることを目的にブロックナイトの設営のほか、第45回会員大会笹山大会では、褒章委員会による褒章授与式、そしてマスメディアとの連携を題材として分科会を開催しました。

私自身、2009年に中西議長のセクレタリーとして兵庫ブロックに出向して以来、2010年に財政特別委員会、2011年では兵庫の魅力創造委員会に出向し、今年で4年連続兵庫ブロックに出向させていただきました。数多くの経験をさせていただいたのも、皆様の支えがあってこそ出来ると感じ、感謝しています。

芦屋JCの岡田委員長をはじめとする、兵庫の多くのメンバーと活動を行い、淡路JCとして兵庫ブロックに貢献する機会を与えていただきましたことに感謝を致します。本当にありがとうございました。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2011. 11. 20	神戸	予定者委員会
2012. 1. 11	芦屋	第1回委員会
2012. 1. 22	京都	京都会議ブロックナイト
2012. 2. 4	神戸	第2回合同委員会
2012. 3. 28	尼崎	第3回委員会
2012. 4. 26	西脇	第4回委員会
2012. 5. 19	宝塚	第5回委員会
2012. 6. 22	篠山	第6回委員会
2012. 7. 15	天理	近畿地区大会天理大会
2012. 8. 25	篠山ユニトピアささやま	第45回会員大会篠山大会
2012. 10. 31	神戸	第7回委員会
2012. 11. 24	神戸	第8回委員会

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

財政特別委員会

委員 三原 聡



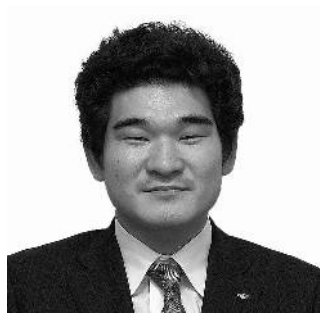
今年度、兵庫ブロック協議会 財政特別委員会へ出向させて頂きました。財政特別委員会の役割としましては、兵庫ブロック協議会のすべての議案に対し、財政面のチェックとコンプライアンス面のチェックを主な職務とし、費用対効果や事業目的等の確認を行い、役員会で出る前に議案の精度を高めてゆくことを行う委員会でした。役所的な確認業務が主ではありましたが、分厚い財政マニュアルを片手に、LOMとはまた違うフォーマットにあっているかどうかを悪戦苦闘しながらチェックを行ううちに、事業の上程から決算・監査に至るまで深くかかわる重要な業務を負っている自負心が多少は芽生えることができました。また、当委員会に出向されたメンバーの意識は高く、そのようなメンバーと1年間交流を深めることができ、LOMとは異なる考え方や方法などを学ぶ良い機会を得ることができました。このような貴重な機会を与えて頂いたことに感謝を申し上げ、出向者報告と致します。

出 向 記 録

年月日	場 所	内 容
2011. 11. 20	神戸ポートピアホテル	予定者委員会
2012. 1. 13	明石 明康殿	第1回委員会
2. 4	神戸ポートピアホテル	第2回合同委員会
3. 9	芦屋 芦屋市商工会館	第3回委員会
5. 11	三木 かじやの里メッセみき	第4回委員会
7. 20	神戸 メリケン [®] -クリエントホテル	第5回委員会
9. 7	加東 滝寺荘	第6回委員会
11. 12	ニューアワジ	第7回委員会

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫アカデミー委員会

委員 福富 健介



今年度、近畿地区兵庫ブロック協議会「兵庫アカデミー委員会」に委員として出向させていただきました。入会后3年未満の若手の委員で構成されている委員会ですが主な活動内容としては委員会の多彩な各種研修プログラムに参加することです。また、委員会に参加することで、我々責任世代が主導力を持った卓越したリーダーなり、明るい豊かな社会を実現するための素地を身に付けることを目標としております。そのため非常にハードな訓練が組み込まれておりましたが、他のLOMのメンバーとともになんとかクリアすることができました。得られたものは、文章では表現できないほど多いと思います。1年間このような機会を与えていただきまして感謝しております。ありがとうございました。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2012. 11. 4	神戸ポートピアホテル	第1回兵庫アカデミー委員会
2012. 2. 4	神戸ポートピアホテル	第2回兵庫アカデミー委員会
2012. 3. 3	神戸ラッセホール	第1回兵庫アカデミー事業
2012. 4. 21	姫路市市民会館	第3回兵庫アカデミー委員会
2012. 6. 2	神鍋ハイランドホテル	第2回兵庫アカデミー事業
2012. 7. 14	アスピア明石	第4回兵庫アカデミー委員会
2012. 8. 3	神戸センタープラザ	第3回兵庫アカデミー事業
2012. 9. 1	相生市「羅漢の里」	第5回兵庫アカデミー委員会
2012. 10. 31	三宮「クラブ月世界」	兵庫アカデミー委員会 打上げ事業

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員 村田 泰志



当アカデミー委員会は、入会3年未満の会員が各ロムから集まり、JCのスタンダードを学んでいくというコンセプトのもと行おこなわれました。初めは訳もわからなく緊張気味でしたが、裏テーマが「とにかく楽しむ」と言う事で、他ロムのメンバーとも友達なり終わってみたら、とても楽しい委員会でした。

また、褒め達検定や、カラーコーディネートの研修など、JC活動や、普段の経営、人の使い方など勉強になりました。

一泊二日の研修事業では、各班に分かれチームワークをはぐくむ事業があり、また、夜には懇親会があり、さまざまなイベントも用意され裏テーマ通り、とても楽しい一日を過ごし、研修事業というよりも、旅行と言う感覚でした。

とても貴重な体験ができ、これからのJC活動に役立てたいと思います。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員 横山 泰明



この度、公益社団法人日本青年会議所 兵庫ブロック協議会 兵庫アカデミー委員会に出向させて頂きました。多くの他LOMのメンバーと事業や委員会に参加し、お話させて頂いたり、メンバーに助けて頂いた事で多くの事を学びたくさんの事業や委員会を経験させて頂きました。この経験は自分にとって大きな成長に繋がったと感じています。このような機会を与えて頂きまして本当にありがとうございました。

10. 監事報告

監事 上河 護 中西 仁志



一年間、監事という役職をいただき、年当初に掲げました抱負基本方針の元、各事業が目的に沿ってなされているか、予算の執行状況、社団法人として公の益につながっているか等々を見させていただきながら、共に創立50周年の節目を過ごさせていただきました。

「鉛と鞭」がいつの間にか「鞭と鞭」と言われるようになりましたが、今までの経験を可能な限りお伝えすることが私たちの使命ととらえ、時には厳しい意見を述べさせていただきました。そのような中、「変えるべきものは何もない」 変わるものは、変えるべきものは「手法」であり、「本質」ではないと卒業を目前に控え、改めて確信しております。

輝かしい51年目を迎えるにあたり、社団法人淡路青年会議所のメンバーが変えてはいけない本質に確固たる信念を持ち、淡路島の未来のために邁進して頂きますよう祈念申し上げます、監事報告とさせていただきます。

11. 会 員 動 向

1. 2011 年度末会員数

正会員 64 名 特別会員 282 名 準会員 8 名

2. 2012 年度入会者

新入会者名	推 薦 者		
浅井 克也	中田 勝文	平川 智己	三倉 克仁
岡本 義弘	飛松 孝治	岸本 篤人	中田 勝文
奥畑 政昭	岸本 篤人	平川 智己	三倉 克仁
長船 亘祐	岸本 篤人	平川 智己	大畑 一也
時枝 弘記	池澄 泰彦	柴田 大介	岸本 篤人
西山 高右	有賀 雄一	岸本 篤人	廣井 公壽
波戸 大樹	大畑 一也	平川 智己	中村 篤弘

3. 2012 年度会員数

正会員 64 名 特別会員 286 名

4. 2012 年度退会者

なし

5. 2012 年度休会者

なし

6. 2012 年度物故会員

弦牧 良治、磯崎 泰博、山林 宣治

7. 2012 年度末会員数

正会員 64 名 特別会員 283 名 準会員 5 名

8. 2012 年度卒業会員

18 名

奥畑 政昭	長舩 亘祐	柏木 敏孝	上河 護	木原 慎陽
齋藤 新太	滝本 佳範	立木 健介	寺西 正典	長尾 泰宏
中西 仁志	畑野 信行	濱口 健一	藤井 実二	真野 貴司
美摩 武臣	柳 弘一郎	山下 勝久		

9. 2012 年度役員選考委員

後藤 英範	畑野 信行	上村 雄二郎	飛松 孝治	原田 啓行
向內 英光	吉井 崇行	平川 智己		

1 2. 2012 年度 社団法人淡路青年会議所

役員名簿

理 事 長	上 村	雄二郎
直前理事長	畑 野	信 行
特別顧問	後 藤	英 範
副理事長	飛 松	孝 治
	原 田	啓 行
	向 内	英 光
室 長	木 原	慎 陽
専務理事	池 澄	泰 彦
理 事	大 畑	一 也
	岸 本	篤 人
	川 越	勇 輔
	柴 田	大 介
	中 村	篤 弘
	法 月	正 義
	三 原	聡
出向理事	齊 藤	新 太
	廣 井	公 壽
監 事	上 河	護
	中 西	仁 志

13. 出向者一覧

公益社団法人日本青年会議所

出 向 先	役 職	出向者氏名
アジアアライアンス確立委員会	委 員	齋藤 新太

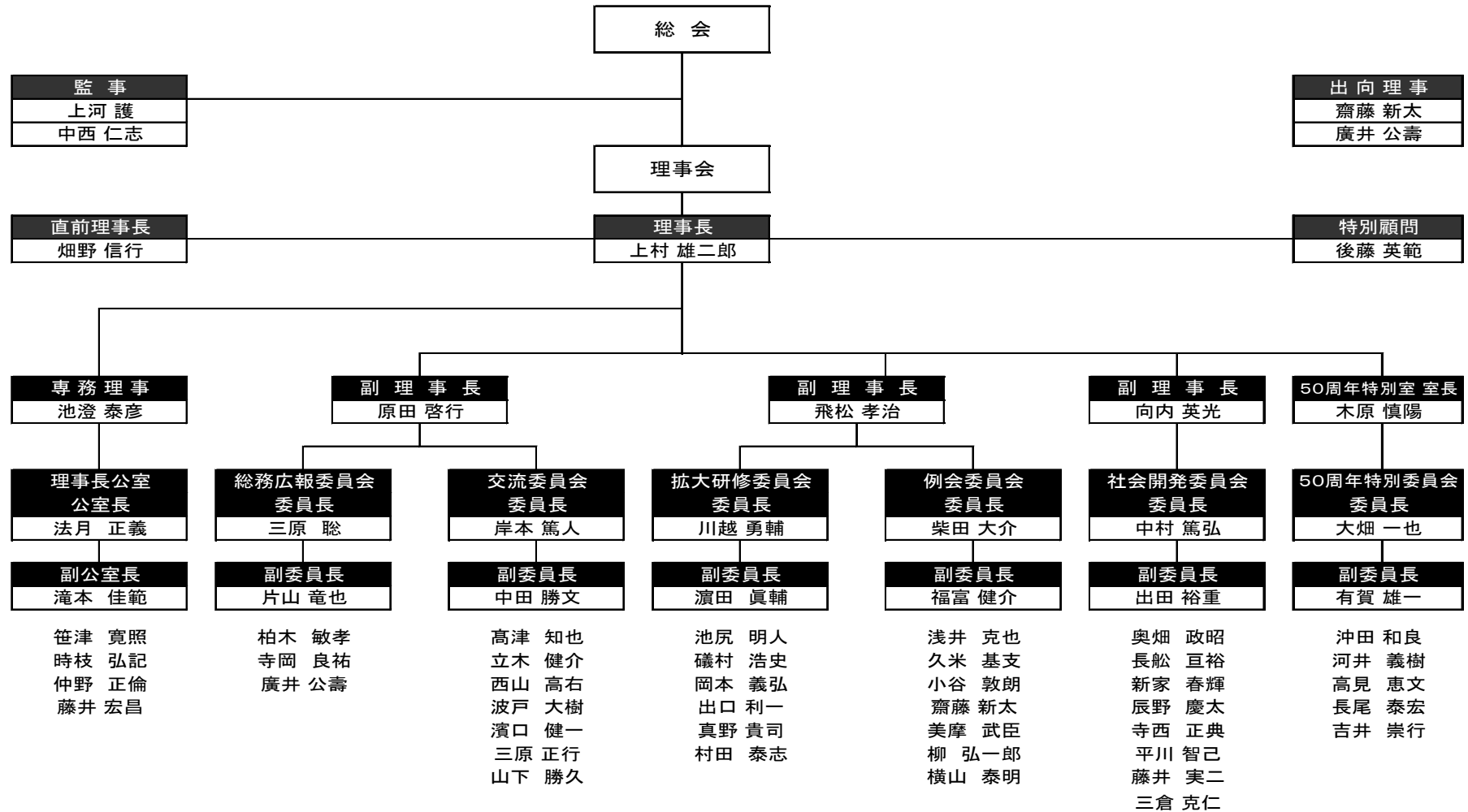
公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会

出 向 先	役 職	出向者氏名
グローバルリーダー育成委員会	委 員	廣井 公壽

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

出 向 先	役 職	出向者氏名
	書記	出口 利一
	書記	仲野 正倫
震災復興推進会議	委 員	木原 慎陽
兵庫の未来創造会議	委 員	向内 英光
会員拡大推進委員会	委 員	飛松 孝治
会員大会運営委員会	委 員	原田 啓行
JC 運動発信委員会	委 員	大畑 一也
財政特別委員会	委 員	三原 聡
兵庫アカデミー委員会	委 員	福富 健介
兵庫アカデミー委員会	委 員	村田 泰志
兵庫アカデミー委員会	委 員	横山 泰明

14. 組織及び委員会構成



15. 褒 賞

褒賞委員会
 上村 雄二郎 理事長 畑野 信行 直前理事長
 後藤 英範 特別顧問 上河 護 監事
 中西 仁志 監事 飛松 孝治 副理事長
 原田 啓行 副理事長 向内 英光副理事長
 木原 慎陽 室長 池澄 泰彦 専務理事

1. 最優秀委員会賞 例会委員会
2. 優秀委員会賞 50周年特別委員会
3. 優秀事業賞 総務広報委員会
 社団法人淡路青年会議所創立50周年記念
 わんぱく相撲淡路場所～心はひとつ あきらめない最後まで！～
4. 50周年特別事業賞 社会開発委員会
 夢プロジェクト Awaji Dreams～夢の力が地域を変える！～
5. 最優秀会員賞 福富 健介（例会委員会）
6. 優秀会員賞 中田 勝文（交流委員会） 横山 泰明（例会委員会）
7. 最優秀新会員賞 浅井 克也（例会委員会）
8. 優秀新会員賞 時枝 弘記（理事長公室）
9. LOM 功労賞 理事長公室
10. 努力賞 交流委員会 拡大研修委員会
11. 出向者奨励賞 出口 利一 仲野 正倫
12. 例会出席奨励賞 上村 雄二郎 後藤 英範 上河 護 飛松 孝治
 原田 啓行 向内 英光 木原 慎陽 池澄 泰彦
 法月 正義 滝本 佳範 仲野 正倫 時枝 弘記
 三原 聡 片山 竜也 廣井 公壽 岸本 篤人
 中田 勝文 立木 健介 川越 勇輔 出口 利一
 柴田 大介 福富 健介 齋藤 新太 美摩 武臣
 横山 泰明 浅井 克也 中村 篤弘 寺西 政昭
 奥畑 政昭 大畑 一也 有賀 雄一 沖田 和良
 長尾 泰宏 計 33 名
13. 特別功労賞 畑野 信行
14. 卒業生感謝状 奥畑 政昭 長舩 巨祐 柏木 敏孝 上河 護
 木原 慎陽 齋藤 新太 滝本 佳範 立木 健介
 寺西 正典 長尾 泰宏 中西 仁志 畑野 信行
 濱口 健一 藤井 実二 真野 貴司 美摩 武臣
 柳 弘一郎 山下 勝久

16. 決算報告

一般会計収支決算書

自 2012年 1月 1日

至 2012年 12月 31日

収入の部

単位:円

款	項	目	2012年度決算額	2012年度補正予算	2012年度修正予算	2012年度当初予算	2012年度修正予算との比較	備 考
会 費			10,420,000	10,420,000	10,420,000	9,460,000	0	
	会 費		10,420,000	10,420,000	10,420,000	9,460,000	0	
		新会員会費	1,120,000	1,120,000	1,120,000	480,000	0	新入会員7名×160,000
		正会員会費	9,120,000	9,120,000	9,120,000	8,800,000	0	57名×¥160,000
		特別会費	180,000	180,000	180,000	180,000	0	卒業生6名×¥30,000
入会金			350,000	350,000	350,000	150,000	0	
	入会金		350,000	350,000	350,000	150,000	0	
		入会金	350,000	350,000	350,000	150,000	0	新入会員7名×¥50,000
事業収入			4,195,783	4,026,783	0	0	169,000	
	事業収入		0	0	0	0	0	
		寄付金	0	0	0	0	0	
		補助金	0	0	0	0	0	
		助成金	0	0	0	0	0	
	登録料		2,921,000	2,752,000	0	0	169,000	
		登録料	2,921,000	2,752,000	0	0	169,000	
	雑収入		1,274,783	1,274,783	0	0	0	
雑収入		1,274,783	1,274,783	0	0	0		
寄付金			80,000	80,000	0	0	0	
	寄付金		80,000	80,000	0	0	0	
		寄付金	0	0	0	0	0	
		一般寄付金	80,000	80,000	0	0	0	
繰入金			4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	
	繰入金		4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	
		特別事業基金	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	
		職員退職金	0	0	0	0	0	
		事務局整備引当金	0	0	0	0	0	
雑収入			32,718	32,718	0	3,000	0	
	雑収入		32,718	32,718	0	3,000	0	
		受取利息	1,130	1,130	0	3,000	0	
		雑収入	31,588	31,588	0	0	0	
繰越金			3,974,073	3,974,073	3,974,073	560,000	0	
	繰越金		3,974,073	3,974,073	3,974,073	560,000	0	
		繰越金	3,414,073	3,414,073	3,414,073	0	0	
		職員退職金	60,000	60,000	60,000	60,000	0	
		事務局整備引当金	500,000	500,000	500,000	500,000	0	
合 計			23,052,574	22,883,574	18,744,073	14,173,000	169,000	

支出の部

単位：円

款	項	目	2012年度決算額	2012年度補正予算	2012年度修正予算	2012年度当初予算	2012年度修正予算との比較	備 考
法人費			5,380,500	5,380,500	5,718,088	5,180,000	0	
	会議費		262,000	262,000	267,000	267,000	0	
		総会費	10,000	10,000	15,000	15,000	0	
		理事会費	252,000	252,000	252,000	252,000	0	21000円/回*12回
	人件費		1,043,332	1,043,332	1,110,000	1,110,000	0	
		給料	933,832	933,832	960,000	960,000	0	
		諸手当	109,500	109,500	150,000	150,000	0	交通費他
	渉外費		178,416	178,416	250,000	150,000	0	
		渉外費	178,416	178,416	250,000	150,000	0	褒章100,000+各種登録78,000
	慶弔費		53,564	53,564	200,000	100,000	0	
		慶弔費	53,564	53,564	200,000	100,000	0	
	事務費		2,411,483	2,411,483	2,450,000	2,188,110	0	
		印刷費	52,584	52,584	60,000	50,000	0	
		消耗品費	206,492	206,492	200,000	200,000	0	コピー用紙・トナー他
		通信費	491,785	491,785	520,000	500,000	0	電話代、JCOMレ送料等
		賃貸料	1,020,000	1,020,000	1,020,000	1,020,000	0	¥85,000×12ヶ月
		水道光熱費	212,998	212,998	250,000	250,000	0	
		什器備品費	0	0	0	0	0	事務局パソコン購入(3月購入)
		修理費	287,658	287,658	300,000	70,000	0	
		雑費	139,966	139,966	100,000	98,110	0	新聞代等
	報酬料金費		400,000	400,000	400,000	400,000	0	
			400,000	400,000	400,000	400,000	0	
	租税公課		15,617	15,617	25,000	25,000	0	
		租税公課	15,617	15,617	25,000	25,000	0	印紙代等
	負担金		1,016,088	1,016,088	1,016,088	939,890	0	
		JCI会費	57,088	57,088	57,088	62,640	0	¥892×64名
		日本JC会費	365,000	365,000	365,000	335,000	0	¥45,000+¥5,000×64名
国際協力資金		116,800	116,800	116,800	105,850	0	¥5×365日×64名	
近畿地区会費		117,200	117,200	117,200	106,400	0	¥2,000+¥1,800×64名	
兵ブ会費		360,000	360,000	360,000	330,000	0	¥40,000+¥5,000×64名	
WE BELIEVE		0	0	0	0	0	預り金	

支出の部

単位:円

款	項	目	2012年度決算額	2012年度補正予算	2012年度修正予算	2012年度当初予算	2012年度修正予算との比較	備 考	
事業費			11,144,760	10,975,760	8,413,000	8,413,000	169,000		
	理事長公室		0	0	0	0	0		
			0	0	0	0	0		
	総務広報		1,063,909	1,063,909	1,075,000	1,075,000	0		
			1,063,909	1,063,909	1,075,000	1,075,000	0		
	交流		3,876,000	3,707,000	1,010,000	1,010,000	169,000		
			3,876,000	3,707,000	1,010,000	1,010,000	169,000		
	拡大研修		125,713	125,713	133,000	133,000	0		
			125,713	125,713	133,000	133,000	0		
	例会		635,188	635,188	665,000	665,000	0		
			635,188	635,188	665,000	665,000	0		
	社会開発		2,645,802	2,645,802	2,730,000	2,730,000	0		
			2,645,802	2,645,802	2,730,000	2,730,000	0		
	50周年特別		2,798,148	2,798,148	2,800,000	2,800,000	0		
			2,798,148	2,798,148	2,800,000	2,800,000	0		
		0	0	0	0	0			
		0	0	0	0	0			
		0	0	0	0	0			
		0	0	0	0	0			
予備費			0	0	3,532,985	0	0		
	予備費		0	0	3,532,985	0	0		
		予備費		0	0	3,532,985	0	0	
繰出金			500,000	500,000	500,000	0	0	特別事業基金に拠出	
	繰出金		500,000	500,000	500,000	0	0		
		繰出金		500,000	500,000	500,000	0	0	
その他の支出			0	0	0	0	0		
	敷金		0	0	0	0	0		
		敷金		0	0	0	0	0	
	固定資産購入支出		0	0	0	0	0	0	
		什器備品		0	0	0	0	0	
							0		
						0			
繰越金			6,027,314	6,027,314	580,000	580,000	0		
	繰越金		6,027,314	6,027,314	580,000	580,000	0		
		繰越金		5,447,314	5,447,314		0	0	
		職員退職金		80,000	80,000	80,000	80,000	0	
		事務局整備引当金		500,000	500,000	500,000	500,000	0	事務局移転の可能性考慮
合 計		23,052,574	22,883,574	18,744,073	14,173,000	169,000			

2012 年度 貸借対照表

2012 年 12 月 31 日現在

単位：円

	科 目	金 額		科 目	金 額
資産の部	現金・預金	7,260,453	負債の部		0
	敷 金	300,000	負 債 合 計		0
	備 品	115,005			
			正味財産の部	正味財産	7,675,458
資 産 合 計		7,675,458	負債及び正味財産合計		7,675,458

2012 年度 正味財産増減計算書

自 2012 年 1 月 1 日

至 2012 年 12 月 31 日

収入の部

単位:円

款	項	決算額
資産増加額		6,611,224
	次年度繰越金	6,027,314
	敷 金	0
	備品増加額	83,000
	特別事業基金（特別会計）増加額	500,910
負債減少額		0
	合 計	6,611,224

支出の部

単位:円

款	項	決算額
資産減少額		8,123,097
	前年度繰越金	3,974,073
	備品減少額	149,024
	特別事業基金（特別会計）減少額	4,000,000
負債増加額		0
	合 計	8,123,097

科 目	決算額
当期正味財産増加額	-1,511,873
前期繰越正味財産額	9,187,331
末期正味財産合計額	7,675,458

2012 年度 収支決算総括表

自 2012 年 1 月 1 日

至 2012 年 12 月 31 日

収入の部

単位:円

科 目	合 計	一般会計	特別事業基金
会 費	10,420,000	10,420,000	0
入 会 金	350,000	350,000	0
事 業 収 入	4,195,783	4,195,783	0
寄 付 金	80,000	80,000	0
繰 入 金	4,500,000	4,000,000	500,000
雑 収 入	33,628	32,718	910
繰 越 金	8,696,302	3,974,073	4,722,229
合 計	28,275,713	23,052,574	5,223,139

支出の部

科 目	合 計	一般会計	特別事業基金
法 人 費	5,380,500	5,380,500	0
事 業 費	11,144,760	11,144,760	0
繰 出 金	4,500,000	500,000	4,000,000
その他支出	0		0
繰 越 金	7,250,453	6,027,314	1,223,139
合 計	28,275,713	23,052,574	5,223,139

2012年度 事業収支明細一覧

自 2012年 1月 1日

至 2012年 12月 31日

単位：円

款	中科目	事業名	合計	金額(1人当り)	参加人数	小計	返金	担当委員会	備考		
事業収入	寄付金		0								
	補助金		0								
	助成金		0								
	小計		0								
	登録料	新年会		1,710,000	15,000	114	1,710,000	0	交流委員会		
		淡路島まつり踊り大会		132,000	3,000	44	132,000	0	交流委員会	出立	
		淡路島まつり踊り大会		230,000	5,000	46	230,000	0	交流委員会	交流会	
		クリスマス家族忘年会			849,000	10,000	71	710,000	0	交流委員会	大人
						5,000	14	70,000	0	交流委員会	お子様コース
						3,000	23	69,000	0	交流委員会	お子様ランチ
	小計					2,921,000	0				
	決算額		2,921,000								
	雑収入	新年会		220,000				0	交流委員会	お祝金(来賓)	
		50周年記念式典		682,000					50周年特別委員会	お祝金(来賓)	
		50周年記念式典		12,000					50周年特別委員会	お祝金(酒井様)	
		50周年記念式典		250,000					50周年特別委員会	OB会	
		50周年記念式典		110,783					50周年特別委員会	50周年記念事業実行委員会 繰り戻し分	
	小計		1,274,783								
	合計		4,195,783								

2012 年度 助成金・寄付金収入明細一覧

自 2012 年 1 月 1 日

至 2012 年 12 月 31 日

単位：円

寄付金	寄付金		0						
	一般寄付金		80,000						OB会
		小計	80,000						
		合計	4,275,783						

2012 年度 財産目録

2012 年 12 月 31 日現在

資産の部

単位：円

	科 目	数 量	金 額	摘 要
流動資産	現金・預金	合 計	7,260,453	
	現 金		0	
	淡路信用金庫	本町支店 普通預金	780,811	No.0454865
	淡路信用金庫	本店営業部 普通預金	5,246,503	No.0300206
	淡路信用金庫	本町支店 普通預金	1,223,139	No.0749012
	淡路信用金庫	本町支店 有価証券	10,000	No.21942

	科 目	数 量	金 額	摘 要	
固定資産	固定資産合計	合 計	415,005		
	敷 金		300,000		
	備 品		115,005		
	エアコン	2003年12月15日	2 台	20,402	2003年度購入分
		510,000			
	パーテーション	2004年7月6日	1 式	38,537	2003年度卒業生寄贈(※会計処理に関する既定 第23条並びに第24条(4)により固定資産算入)
		271,950			
	定率法による 減価償却	ファックス	1 台	12,370	2006年度購入分
2006年12月28日					
コピー機	2009年6月8日	1 台	43,696	2009年度購入分	
	493,500				

負債の部

合 計	0	
-----	---	--

正味資産の部

合 計	7,675,458	
-----	-----------	--

2012年度 物品目録

2012年12月31日現在

科 目	数 量	金 額	摘 要
物 品			
保管庫・スチール書庫	1個	75,000	
冷蔵庫	1台	15,000	
旗三脚セット	2セット	20,000	
電話機	2台	144,200	1995年度購入分
デスクコーナー	1台	75,190	1996年度購入分
デスク	1台	30,282	1996年度購入分
デスク	1台	95,069	1996年度購入分
デスク	1台	82,297	1996年度購入分
デスク	1台	95,790	1996年度購入分
パソコンラック	2台	16,171	1996年度購入分
チェア	1脚	28,634	1996年度購入分
チェア	2脚	43,878	1996年度購入分
チェア	1脚	20,600	1996年度購入分
パーテーション	1脚	133,200	1996年度購入分
ウォールロッカー	1台	37,389	1996年度購入分
両開き保管庫	3台	81,267	1996年度購入分
引違いガラス保管庫	3台	100,425	1996年度購入分
深型保管庫	3台	79,413	1996年度購入分
会議テーブル	2台	68,392	1996年度購入分
会議椅子	12脚	97,644	1996年度購入分
ホワイトボード	1枚	17,325	1996年度購入分
月間予定表	1枚	15,398	1996年度購入分
月間掲示板	1枚	31,734	1996年度購入分
トランシバー	7台		某氏寄贈
ハンドマイク	1台	20,611	2000年度購入分
国旗	1旗	7,350	2000年度購入分
スクリーン	1台		2000年度卒業生寄贈
デジタルカメラ	1台		2000年度卒業生寄贈
ビデオカメラ	1台		2001年度卒業生寄贈
エアコン	1台		2002年度卒業生寄贈
エアコン	1台		某氏寄贈
会議テーブル	15台	155,000	2003年度購入分
パイプ椅子	20脚	29,200	2003年度購入分
掃除機	1台	13,440	2010年度購入分
ファンヒーター	2台	51,600	2003年度購入分
玄関表札	1基	100,000	2003年度卒業生寄贈
パソコン	1台		2004年度卒業生寄贈
コピー機(中古)	1台	102,900	2005年度購入分
スチールデスク	3台		某氏寄贈
ゴングマーク	1個	10,000	2006年度購入分
卓上旗セット	1式	7,840	2006年度購入分
JCIプレート	1基	19,950	2006年度卒業生寄贈
パソコンディスクトップ	1台	82,950	2006年度卒業生寄贈
モデム・ルーター	1式	19,425	2006年度卒業生寄贈
耐火金庫	1台	81,900	2006年度卒業生寄贈
自立式スクリーン	1台	84,000	2006年度卒業生寄贈
プロジェクター	1台	159,500	2007年度卒業生寄贈
タイムレコーダー	1台	26,800	2008年度購入分
空気清浄機	2台	60,000	2010年度卒業生寄贈
液晶テレビ	1台	60,000	2010年度卒業生寄贈
プリンタ	1台	60,000	2010年度卒業生寄贈
パソコンディスクトップ	1台	180,000	2010年度購入分
パーテーション	2台	99,750	2011年度卒業生寄贈
JCI旗	1枚	20,000	2012年度卒業生寄贈
JCI旗	1枚	20,000	2012年度購入分
日の丸旗	1枚	9,000	2012年度購入分
日の丸旗	1枚	9,000	2012年度卒業生寄贈
AWAJI旗	1枚	25,000	2012年度卒業生寄贈
合 計		2,919,514	

2012年度 特別事業基金収支決算書

単位:円

収入の部				支出の部				
2012年度決算	2012年度修正予算	2012年度当初予算	2012年度修正予算との比較	科 目	2012年度決算	2012年度修正予算	2012年度当初予算	2012年度修正予算との比較
4,722,229	4,722,229	4,722,229	0	2011年度繰出金	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0
500,000	500,000	0	0	2012年度繰越金	1,223,139	1,223,139	722,229	0
910	910	0	0		0	0	0	0
5,223,139	5,223,139	4,722,229	0	合 計	5,223,139	5,223,139	4,722,229	0

17. 監 査 報 告

2013年1月5日

2012年度 社団法人 淡路青年会議所

理 事 長 上村 雄二郎 殿

社団法人淡路青年会議所の2012年度（2012年度1月1日から同年12月31日まで）決算報告書並びに事業について、一般会計収支決算書、特別会計決算書、財産目録、賃借対照表、正味財産増減計算書並びに事業報告書を監査いたしましたところ適正であることを認めます。

監 事 上河 護

監 事 中西 仁志

18. 資 料

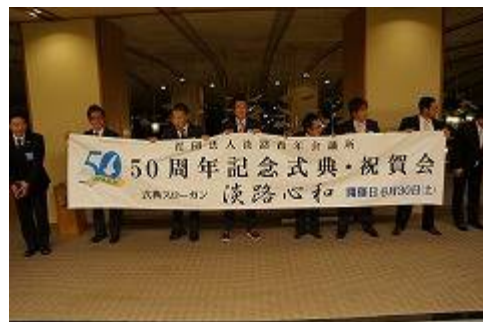
1. 各事業別写真
2. 新聞記事切抜

18. 資料 事業写真

1月新年例会・第75回通常総会 2012年01月11日（水）



新年会 2012年01月11日（水）



18. 資料 事業写真

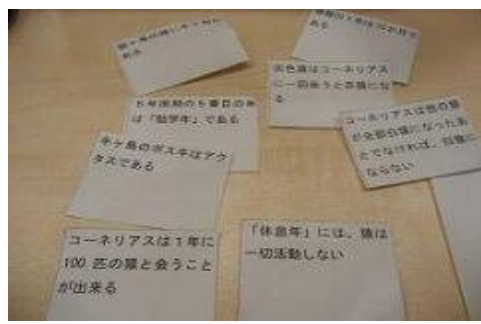
2 月例会 体感型トレーニング～共に考え共に行動する！～

2012 年 02 月 8 日 (水)



3 月例会 体感型トレーニング part2～共に分析・共に考察する！～

2012 年 03 月 14 日 (水)



18. 資料 事業写真

前期入会候補者説明会 2012年03月22日（木）



50周年記念 4月例会 2012年4月11日（水）



18. 資料 事業写真

社団法人淡路青年会議所創立 50 周年記念 わんぱく相撲淡路場所

2012 年 5 月 6 日 (日)



5 月例会～精神の共有～ 2012 年 5 月 9 日 (水)



18. 資料 事業写真

6 月例会 淡路はひとつ! ~One for AWAJI~ 2012 年 06 月 13 日 (水)



50 周年記念式典・記念祝賀会 2012 年 06 月 30 日(土)



18. 資料 事業写真

研修事業～時は今！目覚めよ！真・淡路 Jaycess～

2012年07月07日（土）～ 2012年07月08日（日）



7月例会 描け！未来の淡路 JC～一人ひとりの選択が未来を切り拓く～

2012年07月11日（水）



18. 資料 事業写真

第 65 回淡路島まつりおどり大会 2012 年 08 月 04 日 (土)



8 月例会～共に広げよう!!淡路 JC の輪・第 56 回臨時総会

2012 年 08 月 08 日 (水)



18. 資料 事業写真

9月例会 体感型トレーニング part3 精神統一～心の整理！～

2012年09月12日（水）



後期入会説明会（淡路 JC 説明会）

2012年09月20日（木）



18. 資料 事業写真

10月例会 体感型トレーニングFINAL! 2012年10月10日 (水)



夢プロジェクト Awa j i D r e a m s ~夢の力が地域を変える!~

2012年10月27日 (土)



18. 資料 事業写真

11月例会 ～栄光への架橋～ 2012年11月14日（水）



12月例会 ～Power of Awaji JC Members!～・第76回通常総会

2012年12月15日（土）



18. 資料 事業写真

JC Family Smile Party 2012年12月15日 (土)



平成 24 年 1 月 17 日 産経新聞

淡路

今できること

謹んで初春のお慶びを申し上げます。平成 23 年は 3 月 11 日の東日本大震災、秋の台風と大きな自然災害の年でした。被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

24 年がスタートし、われわれ社団法人淡路青年会議所も 50 年目の新たな歩みを始めました。「淡路はひとつ」との基本理念のもと、明るい豊かな淡路島を創造すべく、あらゆる事業、活動を行っています。この 50 年目という大きな節目を迎え、改めて明るい豊かな淡路島づくりに向けて一致団結し、邁進する所存です。

「存じの方もいらっしゃるかと思います。淡路島が 3 市体制になる以前に、淡路一市運動を主軸とするフォーラムを開き、14 年まで活動を続けてきました。3 市への移行が決定してからは、その活動を一旦休止していましたが、昨年、9 年ぶりに一市運動を開始すべく、10 月に「淡路島一市フォーラム」を開催しました。淡路島が 3 市になって、初めて公の場で 3 市長が

社団法人淡路青年会議所 第 50 代理事長 **上村雄二郎**



「淡路はひとつ」へさらなる一歩

一堂に会するフォーラムを実現したのです。各市長からは「将来的には淡路一市は必要である」との意見を聞くことができ、「淡路島が一市に向けて大きな一歩を踏み出した」といえる大きな成果を上げることができました。そして、本年は淡路一市運動の一環として、島民の皆様へ「淡路はひとつ」という思いを伝え、淡路一市に

路市ではなく、関西の中の淡路島という立ち位置で未来を考える必要があるのです。「淡路島は、それぞれの地域性を生かしながら、それぞれの地域がそれぞれの役割を担うことで、一体となったまちづくりができる」と考えています。そのためには淡路島が一市になること、そして島民の皆様も「淡路はひとつ」という思いを持っていただくことが必要なのです。

-
- ニュースのご連絡は
洲本支局
〒656-0026
洲本市栄町2-2-15
(本町ビル2階)
0799(22)1450
FAX 0799(25)2125
- 姫路支局**
〒670-0921
姫路市網町119
姫路不動ビル内
079(224)5551
FAX 079(226)3191
駐在
加古川 079(421)7520
- 豊岡支局**
〒668-0025
豊岡市幸町13-20
0796(22)8151
FAX 0796(29)2338
- 通信部**
番付 0796(36)4499
- 神戸総局**
〒650-0015
神戸市中央区
多聞通4-1-5
078(351)1771
FAX 078(361)3001
- 阪神支局**
〒662-0918
西宮市大澤寺町9-11
0798(33)5881
FAX 0798(37)2477
- 通信部**
尼崎 06(6421)2545
-

平成 24 年 2 月 7 日 産経新聞

淡路

今できること

洲本市五色町で生まれ育ち、学生時代は大阪で暮らしました。実家の石屋を継ぐために帰ってきましたが、かなり景気も悪く、「このままではいけない」と感じ、自身のスキルアップと「淡路島に貢献したい」との思いから淡路青年会議所に入会しました。

淡路青年会議所で活動する中、さまざまな事業を担当させていただきました。なかでも一番大きな事業は平成 21 年の「未来創造会議」我々の力がこれからの淡路島を創る一でした。次世代のため、島民一人ひとりがもっと淡路島のことを考え、10 年後、20 年後の淡路島を見据え、他人任せではなく、自らが積極的にまちづくりにかかわる意識を生み出すことを目的に、この事業を行いました。さまざまな団体のみならずと話す中、「もっと淡路島らしく」とのキーワードが得られました。その結果をケーブルテレビなどを通じて、発信させていたがきました。

池澄泰彦氏 社団法人淡路青年会議所



「淡路島らしさ」を伝える

この事業で感じたのは「淡路島には魅力がいっぱいあるのに、それを島民が島外にうまく伝えていない」ということです。長く淡路島で暮らしている私自身もそうですが、普通でありすぎて、その魅力に気付かないことが要因のひとつだと思います。島外に住んでいた学生のように「淡路島ってどんなところ」と聞かれることが多かったのですが、大抵は「えええ。何もないよ。」

タマネギが有名なくらいかな」などと答えていたものです。みなさんも経験があるのではないのでしょうか。しかし、島外の人で淡路島に一度でも来たことがある人は「淡路島っていいところだね。食べ物は何でもおいしいし、海もきれいだし、星がめっちゃきれいに見える」など、いろいろと淡路島の魅力を語ってくれます。古事記に登場する神様が祀られている伊弉

くよつ今後も活動していきます。そして、淡路島に住んでいると、各市を分けて話しますが、島外の人には各市に区別なく「淡路島」としてしか話題にしません。島外から見れば、やはり「淡路島はひとつ」なのです。もっと淡路島をうまく発信し、交流人口を増やすためには、淡路島が丸となって島外の人たちに淡路島の魅力を伝えていく必要があると考えます。次代の子供たちのためにも「淡路はひとつ」との思いを、淡路島の一人ひとりに持っていたとき、もっともっと淡路島を魅力あふれる島にしていきますよ。

-
- ニュースのご連絡は
- 洲本支局**
- 〒656-0026
- 洲本市栄町2-2-15
- (本岡ビル2階)
- 0799(22)1450
- FAX 0799(25)2125
- 姫路支局**
- 〒670-0921
- 姫路市補町119
- 姫路不動産ビル内
- 079(224)5551
- FAX 079(226)3191
- 駐在**
- 加古川 079(421)7520
- 豊岡支局**
- 〒668-0025
- 豊岡市幸町13-20
- 0796(22)6151
- FAX 0796(29)2338
- 通信部**
- 番付 0796(36)4499
- 神戸総局**
- 〒650-0015
- 神戸市中央区
- 多聞通4-1-5
- 078(35)11771
- FAX 078(36)13001
- 阪神支局**
- 〒662-0918
- 西宮市六通寺町9-11
- 0798(33)5881
- FAX 0798(37)2477
- 通信部**
- 尼崎 06(6421)2545
-

平成 24 年 3 月 11 日 産経新聞

〈第二種郵便物認可〉

今できること

淡路市で創業60年になる建設会社を営んでいます。時代の大きな潮流を受けながら、この淡路島で半世紀以上商いをさせていただきました。建設業界も時代の潮流と呼应するように、一時的な隆盛を極めた後、今や淘汰の時代を向かえております。

そんな中、今後の方向性を明確にすべく、改めて会社のあり方を確認する必要があります。企業が継続発展していくためには「揺るぎない理念が必要である」ということ。それは会社が目指す目的であり、存在意義そのものであります。

当社では「顧客利益の創造」「社員」の物心両面における幸福、「その双方が効果的に作用すること」で、地域社会の進歩への貢献となることを定義しています。いわば「社会に貢献する」という価値観に基づき、会社を運営しております。

私たち淡路JICは「明るい豊かな淡路島づくり」との理念で、それを表現させる手段として「淡路はひとつ」という地域のあり方を提唱してまいりました。淡路島に存在する各種団体も、業界や地域、文化・伝統という地域発展に寄与するために活動を行い、今日に至っています。そういう観点から、この淡路島に住むわれわれ島民一人ひとりが、地域のために貢献していく必要があります。今後、そこから生み出される島民の行動の受け皿が必要に

上、現状を変えようとする政策その

社団法人淡路青年会議所 原田啓行氏

さらなる島民意識



平成18年に地方分権改革推進法が立ちました。その趣旨は、地方に権と財源が移譲されることにも、地域民が自らの地域のことを考え、責任持たなければならぬという考えを込めています。

地域がこのような疲弊状態である上、現状を変えようとする政策その

平成 24 年 4 月 10 日 産経新聞

淡路

今できること

「第84回選抜高校野球大会」に淡路島から洲本高校が出場し、甲子園へ応援に駆け付けました。惜しくも敗れましたが、球児たちの最後まで諦めず、フェアプレーで試合に臨む姿に感動し、拍手をおくりました。昔から何度も高校野球観戦に甲子園へ行きましたが、やはり甲子園に出るチームは選手的能力が高いくだけでなく、お互い声を出して励ましあう団結力や、相手チームを思いやる礼儀正しい態度が見られます。球児たちのそのひたむきな真摯さと爽やかさから感動が得られるのでしょう。

私は横浜から淡路島へ引っ越してきて6年になります。不思議に思ったのは、淡路島のように自然が豊かな場所でも、あまり子供たちが外で遊んでいる姿を見かけないことでした。昨今の小学生は塾や習い事に追われ、ゲームやインターネットなどで友だちとコミュニケーションを図る子供が多かったり、異年齢の子供同士で遊ぶ機会がほ

三原聡氏 三原聡氏 淡路青年会議所 淡路青年会議所 淡路青年会議所



礼節と思いやりの育みを

とどなかつたりするのは、ここ淡路島でも同じようです。子供時代に体をぶつけあって、本気で交じり合いながら遊んで学ぶ機会がないまま大人になる。そんな大人たちはばかりで、社会が成り立っていくのでしょうか。

二児の父親として子供たちに伝えたいことは、日本人としての礼節や誇り、そして思いやりや一生懸命最後までやり抜く力。それを身につけてほしいと願っています。おそらく、これらは親として共通する願いでないでしょうか。昨年の東日本大震災でもほとんど窃盗や奪い合いもなく、被災者の方々が厳しい状況の中で、互いの絆を大切に復興に立ち向かった。その姿が諸外国から評価されています。日本人としての強みである互いを助け合い思いやる精神は、これからも必ず日本の礎となることでしょう。

また、今大会では団体戦も行いません。お互いが心をひとつにして、たとえ自分が負けても他人を応援すること、共に励まし喜び合えることで、団結力や他人のためにも最後まであきらめないこと素直な喜びを体感してもらいたいと考えます。

人と人とのつながりを通じて、礼節を学び、お互いを助け合い思いやる心を育むことが、子供の人間性豊かな成長につながります。そして、子どもたちを健全に育成することは大人の責任でもあります。私自身も責任を持って子供たちの成長につながるよう行動して参ります。

- ニュースのご連絡は
洲本支局
〒656-0026
洲本市栄町2-2-15
(本館ビル2階)
0799(22)1450
FAX 0799(25)2125
- 姫路支局**
〒670-0921
姫路市網町119
姫路不動産ビル内
079(224)5551
FAX 079(226)3191
駐在
加古川 079(421)7620
- 豊岡支局**
〒668-0025
豊岡市幸町13-20
0796(22)6151
FAX 0796(29)2338
- 通信部**
香住 0796(36)4499
- 神戸総局**
〒650-0015
神戸市中央区
多聞通4-1-5
078(351)1771
FAX 078(361)3001
- 阪神支局**
〒662-0918
西宮市六湛寺町9-11
0798(33)5881
FAX 0798(37)2477
- 通信部**
尼崎 06(6421)2545

平成 24 年 4 月 17 日 産経新聞

勝ち抜いて国技館へ 来月6日 わんぱく相撲大会



日本相撲協会創立 90 周年記念
わんぱく相撲淡路場所
～わんぱくおめでとう～

5/6 (日)
9:30
開場

THE WANK! 学生スポーツセンター

わんぱく力士
大募集!

初めは団体戦が行われる「わんぱく相撲淡路場所」のポスター。洲本市役所

淡路市で開催参加者を募集

小学生力士がぶつかり、勝敗とは別に参加者が決める。個人戦は学年で行い、4、5、6年男子の優勝者は、6月17日に伊丹市にある兵庫プロック大会に出場。同大会で4位以内に入ると、7月29日に東京の西国国技館で開かれる全国大会に出場できる。

午前9時半～午後4時半。参加費無料。個人戦、団体戦両方の出場が条件。

電話の取番は「淡路市」0799(24)3345

淡路市大谷の津名スポーツセンター相撲場である。初めて団体戦を実施する。

淡路市青年会議所が勝者をたたく、敗者を慰めやる心算かな。青少年を育てよう。今年開催。今回は同会議所創立50周年記念。

仲間が心を一つにして最後まで諦めない。この素情を感じてもらおうと、団体戦を計画した。

団体戦は3人1組で、1～3年生(男女混合)、4～6年生男女の計3部で実施。チム編成は応募締め切り後、体格差や地域などを考慮して主催

ここにも淡路

【社会面】シリーズ映画「種まく旅人」の第2弾が淡路島を舞台に撮影され、塩田俊監督ら関係者3人が淡路島入りした。

献血 18日(洲本市文化体育館)15時半

9・22・6011 (後援発表)

切の。同会議所を079

内科・消化器内科・外科・泌尿器科・耳鼻いんこう科
肛門外科・皮膚科・整形外科・リハビリテーション科
麻酔科(塩田 中林 麻酔科)

診療時間 平日 8:30～12:30 13:00～19:30
土曜 8:30～12:30 日 祝日 休診
※但し急病に依り限りではありません。

中林病院

南あわじ市神代国庫1680-1(飯家バス停前) ☎ 0799(42)6200 附

人脚ドック・人工透析

平成 24 年 5 月 8 日 産経新聞

**わんぱく相撲
淡路場所で熱戦**

淡路青年会議所
淡路市大谷の市立津名体
育センターで6日、「わん
ぱく相撲淡路場所」が開か
れ、約50人が土俵で汗を流
した。写真。

社団法人淡路青年会議所
(上村雄二郎理事長)が平
成6年から開催し、今回が
18回目。今回初めて団体戦
が行われた。4、6年生の
男子優勝者は6月17日に伊
丹市で開催予定の兵庫プロ



ツク地区大会に出場する。
各部門の入賞者は次の通
り(敬称略)。

【団体】《低学年》①いちじ
チーム(松本大雅、西田まいき、
城田有斗)②わんぱくチーム(三
原幸大、岡田大成、大川恭平)③
ドラゴン(亀岡斗稀、長尾翔太、
漆原奨、岸本麻暉)

《高学年》①ごんたくそチー
ム(佐藤肇機、田村颯一朗、風亮
佑)②しほ田チーム(富田恵伍、
福谷勤音、小松永幸)③最強チー
ム(岡田祐成、川畑透人、濱端元

【個人】《1年生》村本勇海
(神代小)《2年生》四田まいき
(育波小)《3年生》松本大雅
(江井小)《4年生》①福谷勤音
(塩田小)②風亮佑(宰津小)③
小松永幸(塩田小)《5年生》①
富田恵伍(塩田小)②川畑透人
(北淡小)③岡田祐成(育波小)
(6年生)①濱田満登(宰津小)
②佐藤肇機(神代小)③風優樹
(宰津小)

平成 24 年 5 月 8 日 産経新聞

淡路

今できること

1963(昭和38)年に社団法人淡路青年会議所が創立されて以来、「明るい豊かな淡路島」の実現を目的として活動を行って参りました。そして、本年度は創立50周年を迎えることとなりました。

創立当時の淡路島は1市10町で成り立っており、今よりも島内の行政区域が細かく分かれている時代でした。青年会議所は行政区域をひとつの単位として、各市町村に設立されるのが通例ではありましたが、「淡路はひとつ」という考えのもと、市町村の垣根を越えて、淡路島全域を活動範囲とする社団法人淡路青年会議所が誕生いたしました。

創立以来、「淡路はひとつ」の理念を具体的に示す活動として、私たちは「淡路一市運動」を推進して参りました。島民アンケートの実施や淡路一市推進のPR活動、専門家を招いてのフォーラムの開催、そして「淡路一市を実現する会」の発足などです。平成の大合併によって、1市10町で

社団法人淡路青年会議所 大畑一也氏



「淡路はひとつ」で

あった淡路島が洲本市、南あわじ市、淡路市の3市に統合されました。しかし、まだひとつになつたのではなく、島内が分割された状態にあることは変わりありません。

景気低迷や人口減少といった社会情勢などで、時代によつていい時、悪い時の波はあると思います。また、昨年に起こった東日本大震災のよき大災

害が、淡路島に起こらないという確証はありません。もちろん、淡路島の市町村がひとつにまとまったからといって、景気が良くなったり、人口が増えたり、自然災害の発生を抑えられるわけではありません。

それでも、島内全域を捉えたまちづくりを行う環境を整えること。それを「私たちの世代で遂げるべき課題」として

ニュースのご連絡は

洲本支局
〒656-0026
洲本市栄町2-2-15
(本岡ビル2階)
0799(22)1450
FAX 0799(25)2125

姫路支局

〒670-0921
姫路市錦町119
姫路不動ビル内
079(224)5551
FAX 079(226)3191

豊岡支局

〒668-0025
豊岡市幸町13-20
0796(22)6151
FAX 0796(29)2338

神戸総局

〒650-0015
神戸市中央区
多聞通4-1-5

平

18. 資料 新聞記事

平成 24 年 7 月 1 日 産経新聞

産経新聞 平成24年(2012年)7月1日 日曜日

淡路 J C 50周年を祝う

洲本で「淡路はひとつ」再認識

社団法人淡路青年会議所(淡路J C、上村雄二郎理事長)が創立50周年を迎える30日、洲本市小路谷のホテルニューアワジで「創立50周年記念式典・記念祝賀会」を開催した。淡路島内外から関係者らが出席し、半世紀の歩みを振り返り、50周年を祝った。

この日の記念式典には、地元選出の国会議員、自治体、J C関係者約360人が出席。上村理事長は、創立50周年という大きな節目を迎えることができ、淡路島はひとつにならないうち地域間競争には勝てない、強みを生かした町づくりを、明るく淡路島づくりの第一歩と確認し、「淡路はひとつ」を胸にメンバー一同、熱い思いを持って活動していきます。などあいさつした。

来賓の藤原道生・淡路県民局長は「現在、将来の発展に貢献する理念で、淡路島の主体となって活躍を」などと祝辞を述べた。

淡路J Cは昭和38年、国内237番目、県内11番目の青年会議所として創立。J Cは市町村など行政単位での設立が原則だが、当時の1市10町の枠組みを超えて、淡路島全体で1つの組織として設立された。

創立以来、「淡路はひとつ」の理念を掲げ、淡路島を1市とする運動などを展開。参加資格は20~40歳で社会的リーダーを目指す青年で、64人が現役会員として活動している。

淡路 J C 創立50周年記念式典であいさつする上村雄二郎理事長 一洲本市小路谷

平成 24 年 7 月 1 日 神戸新聞

淡路 J C 50周年記念式典

半世紀の歩み振り返る

洲本

淡路島の将来について理事長上村雄二郎、洲本市小路谷ルニニアワジ

淡路青年会議所(淡路J C)の創立50周年記念式典が30日、洲本市内の

淡路 J C 約300人が、全国での青年会議所として現在、島内の64人が所属し、学生の相撲太島の将来についてフォーラムなど地域振興など再認識している。

この日、第2郎さんが「『淡路はひとつ』の理念

平成 24 年 7 月 10 日 産経新聞

淡路

今できること

「徳のネットワーク」に

ニュースの連絡は
洲本支局
 〒656-0026
 洲本市栄町2-2-15
 (本町ビル2階)
 0799(22)1450
 FAX 0799(25)2125

姫路支局
 〒670-0921
 姫路市総町119
 姫路不動産ビル内
 079(224)5551
 FAX 079(226)3191

豊岡支局
 〒668-0025
 豊岡市幸町13-20
 0796(22)6151
 FAX 0796(23)2338

通信部
 香住 0796(36)4499

神戸総局
 〒650-0016
 神戸市中央区

洲本市の「菜の花法律事務所」で執務する弁護士です。司馬遼太郎の「菜の花の沖」にちなみ、菜の花法律事務所と命名しました。かつて淡路島には1、2人の弁護士しかおりませんでした。現在、6人の弁護士が執務しています。これは規制緩和の成果と言えます。規制緩和は紛争予防のため規制を減らし、取り締まってきた国や公共団体の財政的負担を減らすことを目的としています。紛争が生じた場合、国民自らが主体的に解決することが急頭に置かれていますので、弁護士数の増加は必然でした。

規制緩和の結果、われわれ一人一人に社会を改革する機会もたらされました。公的機関が策定した規制は多くの場合、官僚が決めたビジョンを表現する上で必要な規制でした。これを撤廃したことは、われわれが思い描く理想を表現することを目的に自由に行動できるということなのです。一方で、大きなビジョンがないということとは、われ

社団法人淡路青年会議所 寺岡良佑氏



われが社会のビジョンを作り上げる責任を負っているとも言えます。

かつて英国の経済学者、哲学者のアダム・スミスは、人間の道徳的行動の根拠を「共感」に求めました。人間は試行錯誤の結果、「自己の利益を最大化するためには、他者の共感の範囲内で行動することが必要である」と気づく、ということです。スミスの肝は、行動規範は他者から与えられるものでなく、われわれの中からおのずから生ずるものでなければならぬとした点にあります。現在の社会状況を前提にすると、スミス哲学に見習うべきところが多岐にわたります。

淡路島で暮らし始め、スミスのいう共感の枠組みを実感として理解することが多くなりました。私は現在、社団法人淡路青年会議所に所属し、「明るく豊かな淡路島」を実現する諸活動に

平成 24 年 8 月 14 日 産経新聞

淡路

今できること

京都府亀岡市で生まれ、育ちました。学生のころは大阪府に在住し、大学卒業後に不動産業界で賃貸の営業を行いながら社会人の基礎を学びました。そして、家業である新聞販売業の修業で淡路島に来て、独立し、開業させていただきました。

現在の新聞業界は、インターネットの普及の影響▽全国的な少子高齢化による世帯減による影響▽若者層の急激な新聞離れ▽訪問販売に対する根強い反発▽都市部ではマンションのセキュリティ向上での販売活動の制限 など外部要因の影響によって、大きな曲がり角に立たされています。

社団法人日本新聞協会が発表している 新聞の発行部数と世帯数の推移の統計データを見ても、発行部数が 2000 年代から減少に転じ、2011 (平成 21) 年度を見ても前年度比 2% 弱の減少が続いております。

新聞販売店として、ただ単に新聞を配達や集金するだけでなく、地域全体を戸別訪問し、営業活動もさせていた

社団法人淡路青年会議所 法月正義氏



地域の人と人をつ

だいております。確かにそこでは、お客さまからインターネットで情報をとれるから新聞は必要ないねー「忙しくて新聞を読んでいる時間ないよー」などの声をいただきます。

しかし、インターネットの情報源になっっている一次情報は、新聞記事によるものが大半です。何より新聞記事は

.....
ニュースのご連絡は
洲本支局

〒656-0026
洲本市栄町2-2-15
(本館ビル2階)
0799(22)1450
FAX 0799(25)2125

姫路支局

〒670-0921
姫路市楠町119
姫路不動ビル内
079(224)5551
FAX 079(226)3191

駐在

加古川 079(421)7520

豊岡支局

〒668-0025
豊岡市幸町13-20
0796(22)6151
FAX 0796(29)2338

通信部

香住 0796(36)4499

神戸総局

.....

平成 24 年 9 月 11 日 産経新聞

産経新聞

平成 24 年(2012年) 9 月 11 日 火曜日

(淡路) 26

淡路

今できること

淡路島・洲本市で生まれ、育ちました。学生時代は大阪府に在住し、大学卒業後に不動産業界での営業を行いながら社会人の基礎を学び、そして家業の不動産業を継ぐため、淡路島に帰って参りました。

現在の不動産業界は、インターネット普及の影響での対面営業の減少し、全国的な少子高齢化による世帯減による影響もあり、大きな曲がり角に立たされています。2007年8月にはサブプライム問題、さらに08年9月の世界金融危機が追い打ちをかけ、11年に入っても不動産不況の終わりは見えない状況です。不動産業者として、ただ単に「土地や建物の斡旋をする」という時代が過ぎ去ろうとしているように感じます。

今後、不動産業ではますますインターネットの発達による個人売買が進んで、仲介が不要になったり、立ち会いだけ頼まれるようになってくる可能性

社団法人淡路青年会議所 岸本篤人氏



淡路の良さを、変えな

性もあります。今までは隣近所の目を気にして「土地売却の話の内密に進めてほしい」というお客さまが、今後は家の前に堂々と売地の看板を出す時代になるかもしれません。近年の流通業の中抜きのように、不動産業でも中抜きされる時代が来ると思われます。しかし、個人間での売買が活発になれば、必ずトラブルが起きてきます。「お金を払わない」、「権利を移さな

い」、「期日通りに物件を譲り渡さな

ニュースのご連絡は
洲本支局

〒656-0026
洲本市栄町2-2-15
(本陣ビル2階)
0799(22)1450
FAX 0799(25)2125

姫路支局

〒670-0921
姫路市楠町119
姫路不動ビル内
079(224)5551
FAX 079(220)3131

駐在

加古川 079(421)7520

豊岡支局

〒668-0025
豊岡市幸町13-20
0796(22)6151
FAX 0796(29)2338

通信部

番付 0796(36)4499

神戸総局

平成 24 年 10 月 2 日 産経新聞

淡路

今できること

淡路島の淡路市で生まれ、育ちました。学生の頃は高知県に在住し、大学卒業と同時に、家業の電気屋を継ぐため、淡路島に帰って参りました。

父と母が作りあげた家業は「街の電気屋」として、創業31年目を迎えます。私にとっ、お客さまに育ててもらったことを考えると、私の兄のような存在でもありません。

現在、われわれの業界は、そのシェアの8割を量販店、インターネットが占めるという時代の流れをまともに受ける存在です。経営不振、お客さまのニーズに合わせて次々出る新商品に付いていけず、また、後継者の問題などによって、廃業する「街の電気屋」が後を絶ちません。

私も就職と同時に「お客さまとつと接点を作ろう」と思い、ホームページの開設や店の情報誌の発行と、いろいろなおことを行ってきました。そのように無我夢中で仕事に取り組んでい

社団法人淡路青年会議所 川越勇輔氏



「真の友情」育む

年。「もっと見識を広めたい、自分を鍛えたい」と考えていた頃に、社団法人淡路青年会議所に出会いました。社団法人淡路青年会議所は「明るい豊かな淡路島」を目指し、活動している団体です。メンバーは20歳から40歳まで在籍でき、さまざまな業種の人が集まり、経営者の方も多く在籍しております。社会人2年目の23歳で入会した私には、礼儀作法や当たり前のこと

ニューズのご連絡は
洲本支局
〒656-0026
洲本市栄町2-2-15
(本町ビル2階)
0799(22)1450
FAX 0799(25)2125
姫路支局
〒670-0921
姫路市錦町119
姫路不動ビル内
079(224)5551
FAX 079(226)3191
駐在
加古川 079(421)7520
豊岡支局
〒668-0025
豊岡市幸町13-20
0796(22)6151
FAX 0796(29)2336
通信部
番住 0796(36)4499

18. 資料 新聞記事

平成 24 年 10 月 11 日 産経新聞

産経新聞

淡路 J C が「夢プロジェクト」

ワールドパークで 27日にイベント

清川あさみさんらがトーク

今回のイベントは島民の「夢」を集め、夢に向かって行動しようという企画。淡路島民を対象に千人の動員を目標とする。

イベントは午後2時にスタートし、特設ステージで洲本高校ダンス同好会がダンスを披露。清川さん、パリンピック柔道金メダリストの止木健人さん、五輪柔道三連覇を果たした野村忠宏さんが参加し、それぞれが「夢への努力」「夢の力」「夢をあきらめない」をテーマにトークを行う。

また、来場者に風船に夢を書いてもらい、ゲストとともに一斉に空へ放す。

会場では、淡路島バーガーや淡路島牛丼など「島の食」の販売ブース10店も開設される。

今年で創立50周年を迎えた淡路 J C の上村理事長は「これまで「淡路はひと

つ」の理念で活動してきた。島民が夢を持ち、行動することや淡路島の活性化につながることを思い、イベントを企画しました。ぜひ参加してほしいと話している。

開場は午前10時、入場無料。小雨決行だが、荒天は中止する。問い合わせは淡路 J C (0799・22・6611)。

イベントのポスターを手にPRする淡路 J C の上村雄二郎理事長（右）と中村龍弘さん—10日、洲本市本町

平成 24 年 10 月 13 日 神戸新聞

神戸新聞

「夢」の力で島を元気に

淡路青年会議所 27日に創立50周年を記念し準備

島内出身の2人が講演

淡路 J C 入会者が夢を持って地域活性化につなげるイベント「夢プロジェクト A w a i i D r e a m s」の力が地域を変える!! が27日、淡路市塩田新島の淡路ワールドパーク O K O R O である。同あわし市出身のアーティ

島民一人一人が夢を持って地域活性化につなげるイベント「夢プロジェクト A w a i i D r e a m s」の力が地域を変える!! が27日、淡路市塩田新島の淡路ワールドパーク O K O R O である。同あわし市出身のアーティ

各界で活躍
島内出身の
2人が講演

淡路青年会議所が創立50周年を記念し準備。清川さん、パリンピック柔道金メダリストの止木健人さん、五輪柔道三連覇を果たした野村忠宏さんが参加し、それぞれが「夢への努力」「夢の力」「夢をあきらめない」をテーマにトークを行う。

また、来場者に風船に夢を書いてもらい、ゲストとともに一斉に空へ放す。

会場では、淡路島バーガーや淡路島牛丼など「島の食」の販売ブース10店も開設される。

今年で創立50周年を迎えた淡路 J C の上村理事長は「これまで「淡路はひと

18. 資料 新聞記事

平成 24 年 10 月 28 日 神戸新聞

神戸新聞 (第3種郵便物認可)

「夢」を持つことをテーマに地域活性化を図るイベント「夢プロジェクト Awa i i D r e a m s ～夢の力が地域を変える!!」が27日、淡路市塩田新島の淡路ワールドパークONOKOROであり、約3千人の家族連れらでにぎわった。南あわじ市出身のアーティスト清川あさみさんや、ロンドンパラリンピック柔道100kg超級の金メダリスト正木健人さん＝同市北阿万筒井＝がトークショーに登場し、それぞれの夢について語った。(内田世紀)

ロンドンパラリンピック 柔道金メダリスト正木健人さんら

淡路市青年会議所が創立50周年を記念し、初めに清川さんが、洲本高校を卒業後に京し、フアンションモデルとなった経歴を紹介。アーティストに転身後、写真に頼りぬような装飾を施す、新しい手法の美術作品を生み出した時の苦労話を披露した。

淡路島で育つと情熱が少ないから想像力をあきらめるしかない。都会の手よりイマジンেশョンに優れている」と力を込めた。続いて、正木さんがパラリンピックを振り返り、「白

分はフレッシャーをかけるために『オール日本で金』と公言した」と告白。「夢を達成したいなら生きがいを見つけてあげることが大切。自分にとって柔道は生きがい」と話した。

オリンピック3連覇を達成した柔道選手村恵宏さんもゲスト出演し、「残り少ない現役生活に夢をかける」と決意を語った。

津名中学校の年長生明海さん(16)は、顧問コーナーで正木さんに抱っこして「トークエント。軽々と抱え上げられ、「一つ夢がかなった」とうれしそうだった。

淡路市で地域活性化イベント
家族連れらでにぎわう



トークショーでリクエストに応え、中学生を抱え上げる正木健人さん＝淡路ワールドパークONOKORO

夢への道熱く語る

平成 24 年 11 月 6 日 産経新聞

淡路

今できること

淡路ワールドパークONOKOROで10月27日、社団法人淡路青年会議所は「夢プロジェクトAwaji Dreams」夢の力が地域を变える!!」を開催致しました。

バブル崩壊後、地方は疲弊の一面をたどっています。人口減少や少子高齢化、財政難など多くの問題は、いまだに解決されておりません。このような時代背景が及ぼす影響は計り知れないものがあります。われわれの住む淡路島も例外ではなく、まちからは徐々に活気が失われ、このままでは単なる地方の「地域」として、時代の中に埋もれてしまいかねません。

そのような混とんとした状況を打破するには「疲弊状況だから活気がなくなる」と考えるのではなく、地道ながらも「個人一人ひとりが持つ『夢・希望・ビジョン』」に向け、一歩ずつ前進していく前向きな力が必要である」と考えています。

社団法人淡路青年会議所を支えているのは、メンバーである一人ひとりです。

社団法人淡路青年会議所 中村篤弘氏



夢・希望・ビジョン

あり、淡路島という枠組みで考えれば、淡路島に住む人です。淡路島民一人ひとりが、この地域を支えていることとなります。その島民の持つ夢以上には、この淡路島が発展することはありえないでしょう。

社団法人淡路青年会議所は設立から50年たった今も「淡路はひとつの理念のもとで、明るい豊かな淡路島」と

ニュースのご連絡は
洲本支局

〒656-0026
洲本市栄町2-2-15
(本商ビル2階)
0799(22)1450
FAX 0799(25)2125

姫路支局

〒670-0921
姫路市橘町119
姫路不動産ビル内
079(224)5551
FAX 079(226)3191
駐在
加古川 079(421)7520

豊岡支局

〒668-0025
豊岡市幸町13-20
0796(22)6151
FAX 0796(29)2338
通信部
寄住 0796(36)4499

神戸総局

2013年度

事業計画書

2013年1月1日～12月31日

**社 団 法 人
淡 路 青 年 会 議 所**

社団法人淡路青年会議所

2013 年度 スローガン

協働

ま ち
～故郷と共に～



2013 年度 理事長

向内 英光

1. 理事長所信

はじめに

我々、社団法人淡路青年会議所は半世紀の時を経て、本年は51年目の新たな一步を踏み出します。近年の社会情勢は、IT化が目まぐるしく進歩することで情報伝達が迅速になり、誰しもがリアルタイムで情報取得ができるようになっていきます。時代の速度は10年がひと昔と言われていた時代から、5年や3年、ともすれば1年や半年がひと昔と捉えられる時代へと様変わりしております。そのような激変の時代の最中、政治は混乱を極め、経済は低迷し続けております。人々はそれらの混沌とした潮流を、自分の力ではどうすることもできないものと思い込んでしまい、自らが率先し行動することの尊さを忘れてるように感じます。また、不安や閉塞感を紛らわす為に、無関心を装っているようにも感じます。我々自身も同様に、このような社会情勢に大きく左右され、前向きな変化や行動を起こせていないのではないのでしょうか。時代にただ流されるのではなく、まず自分自身を振り返り、自らの意思で考え、そして行動することこそが明るい未来への大きな第一歩になるものと考えます。

“自らの意思で新たな一步を！”

同志へ

青年会議所メンバーの減少が著しい昨今、全国各地の青年会議所を見渡してみると、会員数が40人を超えるLOMが全体の3分の1となっているのが現状であります。当LOMにおいても例外ではなく、ここ数年、会員の拡大が深刻な課題となっているのは紛れもない事実です。

青年会議所という組織の継続には会員拡大が必要不可欠であります。しかしながら、安易に会員減少を悲観し、やみくもに会員拡大を叫ぶだけでは新たな同志を集うことはできません。まず前提として、メンバー自身が活力と魅力溢れる人材であらねばなりません。それは、メンバー個々が志を高く持ち、真剣に議論を積み重ね、ひた向きに活動を行なうことで得られるものです。そのような人材が集まることで、確固たる自信と誇りを掲げることができる組織となり、それらの前向きな連鎖が、組織の活性化を育み、会員拡大に大きな影響を与えるものと確信いたします。重要なことは、強いヘッドシップでも、個々のワンマンプレーでもありません。それぞれが自分の立場をしっかりと認識し、お互いに補い合い、自分の役割を確実に遂行できる集団こそが、本当の意味で強い組織であると考えます。

“人は魅力ある人と場所に集う！”

繋がりから絆へ

本来青年会議所とは、一つの行政体に一つの LOM で構成されますが、我々社団法人淡路青年会議所は設立当初に先輩諸兄が掲げた「淡路はひとつ」という理念のもと、一市十町で構成される行政体からなる淡路島に単独で誕生いたしました。半世紀をかけて、城壁のように一つひとつ積み上げられた礎をよりどころに、我々メンバーは「明るい豊かな淡路島」を創造するという大義を掲げ、活動しております。脈々と受け継がれてきた価値観が、不連続の連続という螺旋となり人と人を繋いでいます。この繋がりこそが、歴史や伝統というバックボーンとして組織の存在意義を高め、人々からの支持を得ることとなり、安心して一つの目標に向かって活動することができるのです。その事を忘れることなく感謝し、常に意識の中におきながら、更なる活動への参加や積極的な関わり合いの中で、絆へと進化させていきましょう。その進化は決して他で得ることのできないものであり、かけがえない生涯の宝となると信じています。

“自らの積極的な関わりと行動は生涯の宝となる！”

自分の住む故郷を自分たちの手で

この淡路島は都市部よりも人と人との繋がりが強く、その地域に合った様々なコミュニティが形成されております。ローカルコミュニティごとに祭事や年中行事が開催され、人々は年齢や立場にかかわらず何らかの形で関わっているものと考えられます。淡路島に住む住民はそのローカルコミュニティに対し、深い愛着や親しみを持っていることは、淡路島に生活する我々が最もよく知るところであります。そのような人々の想いを集約するとともに、ローカルコミュニティの枠を広げ、淡路島全体で行動を起こすことにより、「淡路はひとつ」であるという一体感が生みだされるものと考えます。それが行政や一部の有権者主導であっては本当の繋がりにはなりません。淡路島に住む住民が自らの意思で行動を起こさなければ、前向きな変化など生まれるはずもなく、意識の向上ですら図ることはできないでしょう。

めまぐるしく移り変わりの激しい近年において、長期的に未来を見据えた事業展開が必要なのは当然のことながら、より身近な未来の姿を描いていく必要があると考えます。なぜならば、身近で明確な目的に対し、前向きに行動することによって、より良い成果をイメージすることができ、より高いモチベーションを生み出すことができるからです。わが故郷（まち）淡路島の可能性を追求するために、それぞれのコミュニティの力を認めながらも、それぞれが視野を広げ、目的に向かうために力を一つに集約していきます。そこから生まれる新たなムーブメントが「明るい豊かな淡路島」の存在意義となると確信しております。

“地域の力に目を向け、未来の故郷を描こう”

さいごに

社団法人淡路青年会議所には設立当初より続く理念があり、「奉仕・修練・友情」の三信条があります。青年会議所活動では、単年度制ならではの結果を追求し活動しております。そして、我々は青年会議所メンバーであると同時に、この淡路島に根ざした青年経済人でもあります。メンバーそれぞれの企業には創業より引き継がれてきた精神があり、そしてより良い成果をあげるべく日々努力を積み重ね現在に至っています。我々は Jaycee として、そして企業の重責を担う立場として、それぞれ違う役割を全うする中で、それぞれの成果が必ず求められているはずです。

人が行動を起こすのは理由があり、出来事には原因と結果があります。自らが組織に対し貢献することなく、結果だけを見て評論家になることはとても簡単なことです。しかし、そのようなところに価値や評価は皆無です。自分たちに必要とされていることや、自分たちがすべきことが何かを今一度考え、故郷（まち）の明るい未来の為に英知と勇気と情熱をもって一歩踏み出しましょう。

“そして信じましょう。真剣に取り組む我々に超えられない壁はないということを！”

2. 基本方針

- 一、伝統への回帰、49年の道のりをお確かめ、感謝を示し、新たな一歩を踏み出そう
- 一、過去の形に捕らわれない革新的な発想をもって挑戦しよう
- 一、積極的な行動で自らがJCの魅力をお発信し、多くの同士を集おう

3. 副 理 事 長 抱 負

副理事長 出口 利一 池澄 泰彦 飛松 孝司 平川 智己



混沌とした先の見えない時代だからこそ我々社団法人淡路青年会議所が「明るい豊かな淡路島」の実現に向け、時代の先駆けとして能動的に活動していかなければならないと考えます。理事長所信の下、全メンバーが与えられた役割を全う出来る様に、我々がしっかりと牽引を行い、LOM全体が同じ志で事業を組立、目的達成に向け邁進する気概を持ちJC活動を行えるよう務める必要があります。

その為に、私共が今年度与えられた副理事長という立場をしっかりと認識し、三役間の意思統一を図ります。そして全ての事業の根幹となる諸会議が時間だけを無駄に費やすことなく、建設的かつ効果的に議論が行える環境づくりに努め、各委員会に対し、趣旨目的にあった調査・研究が行われ、方向性に相違なく緻密な事業になるよう見極め、指導を行って参ります。我々がこれまでJCで経験し学んだ事、また諸先輩方から教わった事を率先して行動で示し、委員長、メンバーへ伝播し共有を図る事で、全てのメンバーがJC活動を通じ相互の関わりを大切に考え、各事業への積極的参加、一部のメンバーだけの力でなく、自分たちに与えられた役割や機会を全うし、LOM全体が高い志で力を出し合えるように促し、目配りを行って参ります。JCでの経験が浅いメンバーへも「奉仕・修練・友情」の三信条、JCの本質をしっかりと伝え、率先して行動を起こせるメンバーを一人でも増やす事で、自己の立場と役割を自覚し目的達成に向けた職務遂行できる集団を構築して参ります。

理事長所信の下、事業を成功へと導くことが我々の責務であると考え、社団法人淡路青年会議所メンバーが組織力を発揮することで「明るい豊かな淡路島」の実現につながることを確信します。

基本方針

1. 意思統一を図り事業遂行の為に責任を持って精査します。
2. メンバーとの関わりを深め、JCでの経験・知識を伝えます。
3. 常に先を見据えた議論を行います

4. 専務理事抱負

専務理事 沖田 和良



我々社団法人淡路青年会議所は創立以来、「明るい豊かな淡路島」の実現に向け日々活動をおこなってまいりました。青年会議所活動を円滑で効率的に運営するために、専務理事として、理事長や副理事長を補佐し、「法人法上の業務遂行理事として日常の業務を処理すると共に、他 LOM、特別会員、他団体との連絡調整役等の職務を全うする必要があります。

組織の連絡調整役として重要な役割を果たすために、組織運営や財務に関する情報を理事長や副理事長へ迅速で綿密な連絡調整を進め、三役間の意思疎通と情報共有を行ない、その情報を委員会やメンバーの末端まで伝えていくことで円滑で効率的な組織運営を行なうと共に、他 LOM、特別会員、他団体と正確かつ誠実な対応で連絡調整を行ない信頼関係の構築に努めてまいります。理事会が効率的で活発な議論が行われる会議を運営するためにも、青年会議所で行なわれる全ての会議の在り方について考察すると共に、現状に満足せず更に精度の高い会議運営を目指し効率的に進行するように準備・設営面を進めてまいります。組織の根幹を支える重要な位置づけであるということの意義と重責を認識し、LOM 全体に気を配り青年会議所活動に対する意義や目的をメンバーへ浸透させることで、メンバーが自らの意思で考え、淡路島の未来を見据えて率先して行動できるように LOM 全体を導いていくためにも、これまで青年会議所で培った知識や経験を活かし、積極的にコミュニケーションを重ねて職務を全うするために行動してまいります。

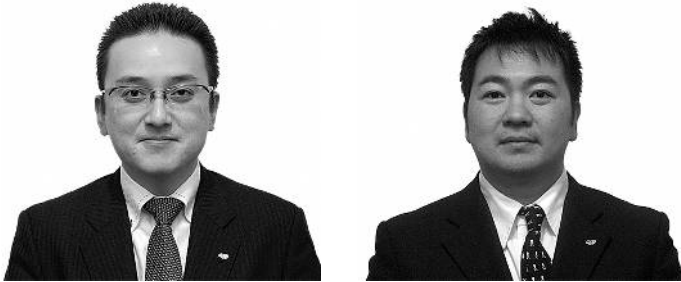
専務理事として迅速かつ的確に青年会議所の運営を滞りなく行なうことで、組織が円滑で効率的な青年会議所活動となり、「明るい豊かな淡路島」の実現に邁進できるものと確信いたします

基本方針

1. LOM 全体に気を配り、円滑で効率的な組織運営に努めます。
2. 他 LOM、特別会員、他団体と正確で迅速な連絡調整に努めます。
3. 現状に満足せず、より精度の高い会議運営の構築に努めます。

5. 監事抱負

監事 後藤 英範 廣井 公壽



半世紀の時を経て、本年度、社団法人淡路青年会議所は 51 年目を迎えます。50 年の礎のもと、新たな 1 年がスタートします。変化を恐れず、何事にもチャレンジし、新時代を創造する最高のタイミングではないでしょうか。本年度は監事として本来の役目である、本会がルールに基づき運営されているか、それぞれの役割を的確に遂行し、「明るい豊かな淡路島」実現のために、きちんと活動が行われているかを見極めなければなりません。冷静に監査するのはもちろんのこと、今まで経験してきたことを基に、メンバーにアドバイス等も積極的に行い、時には厳しく叱咤激励し、未来に向けた新しい第一歩を共に歩んで行きたいと思えます。一年間メンバーの皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

基本方針

1. 理事会と相反する位置づけとして起こるであろう事由を見極め、的確な判断を致します。
2. 理事に対し、青年会議所メンバーとしてのあるべき姿を追求し、指導いたします。

6. 委員長・室長事業計画並びに予算

理事長公室

公室長 有賀 雄一



我々社団法人淡路青年会議所は創立以来、「明るい豊かな淡路島」の実現に向け活動を行ってまいりました。本年、新たに51年目のスタートを踏み出す上でも、各委員会が行う事業が理事長の所信に基づいたものとなるよう、理事長の秘書的業務や専務理事の補佐、諸会議の設営等、社団法人淡路青年会議所の基礎的業務を迅速かつ確実に遂行することが必要であると考えます。

スムーズな会議運営の為に事前準備を確実に行之、細部にまで行き届いた目配り、相手の一歩先を読んだ気配り、相手を思いやる気持ちを持った心配りを行うことにより、理事会が前向きな議論が出来る場となり、互いに切磋琢磨し合える環境づくりに努めてまいります。そして、青年会議所活動の主軸である委員長と横の連携を強化するために各委員長との想いを繋ぐリンクマンとして、LOM全体の力がより一層発揮できるようサポートして参ります。また、社団法人淡路青年会議所が今後も継続して発信力のある組織として活動するためにはひとりでも多くの同士を集うことが必要です。拡大活動をLOM全体の課題として捉え、今年度は拡大会議を中心とした情報の共有やモチベーションの向上を図り、メンバー全員がコミュニケーションを深め積極的に拡大活動を行えるよう率先して行動してまいります。また、入会候補者と積極的に関わりを持つことで、「明るい豊かな淡路島」の実現に向け真剣に取り組む姿や社団法人淡路青年会議所の魅力を感じていただき、入会へと導いてまいります。

各委員長との連携を強化し、個々の力から組織としての力へと進化させることで社団法人淡路青年会議所の活動がより大きな力となり、「明るい豊かな淡路島」の実現に向けて邁進できるものと確信いたします。

基本方針

1. 「目配り、気配り、心配り」を心がけます。
2. リンクマンとして委員長と連携を深めます。
3. LOM全体を巻き込んだ拡大活動を行います。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額 (円)	備考
・ 入会案内冊子作成	1月	入会案内冊子作成	入会対象者	54,000	
・ 兵庫ブロック協議会 LOM 役員懇談会の設営及び運営	2月	兵庫ブロック協議会 LOM役員懇談会資料の作成、及び懇談会の企画	正会員 ブロック団	0	登録料収入にて運営
・ 前期入会候補者説明会	3月	入会候補者説明会の企画・設営及び運営	正会員 入会候補者	28,000	
・ 後期入会候補者説明会	9月	入会候補者説明会の企画・設営及び運営	正会員 入会候補者	28,000	
・ 例会の企画・設営及び運営	12月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	27,800	会場設営費等
			合計	137,800	

役割業務	実施月	業務内容
・ 理事長の秘書的業務及び専務事の補佐	通年	
・ 兵庫ブロック公式訪問資料作成、役員懇談会の企画・設営及び運営	通年	
・ 一般庶務事項及び発送文書の管理	通年	
・ 例会の企画・設営及び運営	12月	
・ 例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・ 財務に関する処理及びコストダウンの調査	通年	
・ 渉外業務全般	通年	
・ 会費の徴収	前期・後期	
・ 事務局全般にわたる業務及び管理	通年	
・ 理事会の設営及び議事録の	通年	

作成		
・ 三役会の設営	通年	
・ 通信案内簿及び諸記録の整理	通年	
・ 会員拡大に関する業務	通年	
・ 公室活動の記録保存	通年	
・ 全事業への参加協力	通年	
・ 理事長諮問に関する答申業務	通年	

ネットワーク委員会

委員長 川越 勇輔



社団法人淡路青年会議所は創立より半世紀が経ち、本年度、新たなスタートの年を迎えます。これまで以上に「明るい豊かな淡路島」の実現を目指し積極的に行動を起こしていくためにはメンバー同士のベクトルを同じくし活動していくことが大切であり、また社団法人淡路青年会議所の姿勢を社会に示し、我々を取り巻く全ての方々に活動意義や目的を発信し、知って頂く必要があると考えます。

社団法人淡路青年会議所では昨今の会員減少傾向という状況の中で、今一度メンバー相互の「繋がり」を大切に活動していくことが大切であります。対内広報紙では、メンバー間や特別会員の皆様との情報共有を目的とし、メンバー個々が持つ想いを伝え、またその取材活動の中で多くの関わりの機会をつくってまいります。ホームページにおいては、我々の活動内容やひとつの事業に向かい、真剣に活動するメンバーの姿を掲載し、社団法人淡路青年会議所の姿勢がより多くの方々に伝わるよう心がけ、熱意のこもった情報を発信してまいります。また、わんぱく相撲では子どもたちの成長において必要不可欠である健全な身体を育み、心身を鍛える場を提供し、淡路島の次代の担い手となる子どもたちの育成へと繋げてまいります。メンバー各々の想いをひとつにし、お互いが共有することで、より強固な繋がりが形成されます。そしてその繋がりを活かし、多くの方々に「社団法人淡路青年会議所」の魅力を伝え、広めることで、さらに大きなネットワークが構築され発信力の増大が行えます。

ネットワークとは「個々の繋がり」であり、それを深めることで「想いを共有する仲間」が形成されます。メンバー間、そしてメンバーとより多くの方々との間にネットワークの構築を行うことは、「明るい豊かな淡路島」に向かい一歩前進する事だと確信致します。

基本方針

1. 己を律し、すべてに情熱を注ぎます。
2. 個々の繋がりを深め、友情の架け橋を築きます。
3. 熱意のある「社団法人淡路青年会議所」を伝え、広めます。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
・ ホームページの管理・運営	通年	ホームページの管理・運営	正会員 一般	148,000	ホームページ制作費
・ 対内広報紙の発行	毎月	JC プレスの発行	正会員 特別会員	348,000	A3 両面 1 色刷り
・ 会員名簿作成	2 月	会員名簿の発行	正会員 特別会員	320,000	
・ 総合資料の作成	2 月	PDF データ及び CD-R	正会員	1,000	保存用として
・ 例会の企画・設営及び運営	3,7,10 月	3,7,10 月例会の企画、設営及び運営	正会員 準会員	58,500	
・ 第 19 回わんぱく相撲淡路場所	5 月	わんぱく相撲淡路場所の設営・運営	淡路島在住小学生	106,000	運営・設営費等
・ 総会の設営及び運営	1,8,12 月	総会資料の作成及び議事録の作成		0	一般会計会議費にて設営
			合計	981,500	

役割業務	実施月	業務内容
・ 2013 年度総合資料の作成	通年	
・ 総会の設営及び運営、総会資料及び議事録作成	通年	
・ 対内広報紙の発行	通年	
・ 例会の企画・設営及び運営 (3 回)	3,7,10 月	
・ 例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・ 選挙管理委員会の設置	7 月	
・ ホームページの管理・運営	通年	
・ 会員名簿及び名刺の作成	2 月	会員名簿の作成 2013 年 2 月・名刺の作成 2012 年 11 月
・ わんぱく相撲の企画・設営及び運営	5 月	
・ 褒賞に関する報告書作成及び褒賞委員会の企画・設営及び運営	通年	
・ LOM 事業の記録及び保存の	通年	

ための取材活動	通年	
・ 会員拡大に関する業務 （関連委員会との連絡調整）	通年	
・ 委員会活動の記録保存	通年	
・ 全事業への参加協力	通年	
・ 理事長諮問に関する答申業務		

会員交流委員会

委員長 中田 勝文



社団法人淡路青年会議所は節目の年を経て新しい1年を迎えます。先輩諸兄から継承してきた理念であります「淡路はひとつ」をもとに「明るい豊かな淡路島」の実現に向かうには、我々、社団法人淡路青年会議所が、より強い結束力のある組織と成長しなければなりません。そのためにはメンバーの交流、結束をより深め、友情を育み、皆が一つの目標に向かって真剣に取り組む必要があると考えます。

本年度は、「繋がりから絆へ」をテーマに、交流を通じて価値観を認め合いお互いが信頼し合える仲を築き、一生涯固い絆で続く関係が持てるよう関わりを大切にすることによって真の友情が生まれます。新年のスタートには、2013年度社団法人淡路青年会議所の理事長の所信と新体制をお披露目し、想いを伝え50年間続いてきたことをもう一度考え感謝を忘れず、昨年度のお礼とおもてなしの心をもって交流を図って参ります。そして、諸先輩方との親睦を通じ精神や軌跡を受け継ぎ、世代の違う人と人との繋がりが我々の意識向上に繋がっていくものと考えます。また、淡路島まつりおどり大会では、メンバーの新たな行動力を存分に発揮し我々の存在が、活力あふれる団体であることを発信し、メンバー相互の交流を図ります。また、安心してJC活動が出来るのは、家族の支えがあってこそだと考えます。家族への日頃の感謝の気持ちを込めた事業を行い、家族とメンバーの笑顔が溢れる楽しい場を企画・設営し、家族に我々の想いや活動をより理解してもらうことで、JC活動を続けていくうえでの大きな活力になることと確信します。

我々JCメンバーが、積極的に関わり結束力を高めることで、信頼できる絆が生まれ「生涯の宝」になり、メンバー全員が協働し共に成長することによって「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信致します。

基本方針

1. 協働を胸に行動し、信頼出来る仲間づくりを行います。
2. 交流を持てるような設営を心がけ、繋がりを構築します。
3. 自覚と責任を持って活動しメンバーと共に成長します。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
・新年会の企画・設営及び運営	1月	新年会の企画・設営及び運営	正会員・特別会員・来賓・他 LOM	300,000	会場設営費等
・会員同士の交流を図る例会の企画・設営及び運営	5月	例会の企画・設営及び運営	正会員・準会員	49,500	会場設営費等
・淡路島まつりおどり大会参加への企画・設営及び運営	8月	淡路島まつりおどり大会参加への企画・設営及び運営	正会員・特別会員・来賓・他 LOM	200,000	会場設営費等
・家族忘年会の企画・設営及び運営	12月	家族忘年会の企画・設営及び運営	正会員・準会員・家族	250,000	会場設営費等
			合計	799,500	

役割業務	実施月	業務内容	
・新年会の企画・設営及び運営	1月		
・会員同士の交流を図る例会の企画・設営及び運営	5月		
・淡路島まつりおどり大会への企画・設営及び運営	8月		
・家族忘年会の企画・設営及び運営	12月		
・公的出向の際の LOM ナイトの設営	通年		LOM ナイトの設営
・ゴルフ同好会・卒業コンペの開催	通年		ゴルフ同好会、卒業コンペ
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年		
・会員拡大に関する業務(関連委員会との連絡調整)	通年		
・委員会活動及び事業の記録保存	通年		
・全事業への参加協力	通年		
・理事長諮問に関する答申業務	通年		

Jaycee 研修委員会

委員長 三倉 克仁



我々、社団法人淡路青年会議所は「明るい豊かな淡路島」の実現のために率先して行動する団体であり続けなければなりません。メンバー個々が地域のリーダーとして率先して行動し、個々が高い意識で活動することで、地域に必要な強い発信力を持った組織となります。そのためにはメンバー個々が Jaycee として、JC 活動に自信と誇りを持ち行動することが必要であると考えます。

今まで先輩諸兄が受け継いできた伝統を理解していくと共に、この時代だからこそ取り組まなければならないことを各々が考えて、仲間と共に時代の先頭を走りつづける真のリーダーとして成長し、地域のために率先して行動することが我々の使命であると考えます。例会や事業などを通して、Jaycee として自らの役割を自覚し、自分の考えに自信を持って発言し議論を深め、組織における価値観をメンバー全員で共有するように取り組んで参ります。積極的に取り組み行動していく中で、誰も乗り越えなければならない問題に直面することがあります。そんな時、自分で無理だと判断して限界を決めてしまうこともあります。限界は自分では見えないものです。だからこそ、メンバー個々が出来るかどうかで判断するのではなく、何事にも一歩踏み出して挑戦し行動することが必要であります。挑戦することで初めて気付くことや例会、事業、委員会などに積極的に参加し、人の関わりの中で得る多くの学びや沢山の人の出会いが Jaycee としてのスキルアップに繋がります。

メンバー個々が積極的に JC 活動に関わり、一歩踏み出して行動することで、どんな苦難にも立ち向かう強い Jaycee マンの育成に繋がり、より強い組織になっていくことを確信いたします。

基本方針

1. メンバーと積極的に関わり、リーダーとしての自覚を持って行動します。
2. Jaycee として自信と誇りを持って行動します。
3. 限界を決めず、一歩踏み出して行動します。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
・リーダーシップ育成に関する事業の企画・設営及び運営	6月	リーダーシップ育成に関する事業の企画・設営及び運営	正会員 準会員	100,000	会場設営費等 資料費等
・例会の企画、設営、運営	2,4,6,8月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	92,500	会場設営費等
			合計	192,500	

役割業務	実施月	業務内容
・リーダーシップ育成に関する事業の企画・設営及び運営	6月	・リーダーシップ育成に関する研修事業の企画・設営及び運営
・例会の企画、設営、運営(4回)	2,4,6,8月	・例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンスフォロー	通年	
・会員拡大に関する業務(関連委員会との連絡調整)	通年	
・委員会活動及び事業の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

まち 故郷づくり委員会

委員長 吉井 崇行



淡路島の各地域に住む人々は、まわりとの繋がりを大切にし、郷土に対する愛着を育むことができる地域社会を形成しています。その地域社会が人を育み、淡路島を支えてきました。しかし、現在、国内・国際情勢が混迷する中、淡路島も例外ではなく、地域社会においても影を落としているのは事実です。地域社会を守り、故郷が発展する先を見据えた行動が今、「明るい豊かな淡路島」を実現するには必要であると考えます。

少子高齢化や雇用問題などといった淡路島の諸問題は、グローバルな視点で見れば日本及び国際的な問題と連動しています。現在、日本の国内外ともに混沌とした社会情勢により諸問題が深刻さを増し、我々が住む地域にも大きく影響を与えています。このように、淡路島を取り巻く環境が大きく変化しようとしている今、我々が住む故郷の発展に寄与し、築いてきた地域社会を守るためには、将来的な行政体の枠組みの変化を想定し、淡路島がおかれている状況を大きな視野で捉え、地域が抱える問題と可能性を深く分析した上で日本における淡路島の価値を明らかにし、発言力のある強い地域になることが急務です。それ故、故郷づくりを行政任せにしてしまうのではなく、設立当初から「淡路はひとつ」を基本理念として掲げて参りました我々が率先して、民間の立場で淡路島が一市になった後の故郷の姿をしっかりイメージし、「淡路島」の可能性と存在意義を力強く指し示し、広く発信することが重要です。そして、島民が当事者意識を持ち、故郷に対してしっかりと関わっていくことが故郷に活力を与え、今後の発展には欠かせないことを示してまいります。

将来を見据えた上で淡路島と地域の可能性を十分に引き出し、故郷に根ざした協働を示すことで外的な要因に流されない確かで豊かな故郷を築くことができ、「明るい豊かな淡路島」を実現するものと確信いたします。

基本方針

1. 委員会で Coproduction し、躍動感のある運営を行います。
2. 新たな可能性を追究し、更なる高みを目指します。
3. ご縁に感謝し、万事に対して誠心誠意を尽くします。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額（円）	備考
・ 社会開発事業の企画・設営及び運営	7月	社会開発事業の企画・設営及び運営	淡路島 島民	1,600,000円	会場設営費等
・ 例会の企画・設営及び運営	1・9・ 11 月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	118,700円	会場設営費等
			合計	1,718,700円	

役割業務	実施月	業務内容
・ 社会開発事業の企画・設営及び運営	7月	社会開発事業の実施
・ 例会の企画・設営及び運営	1・9・ 11月	
・ 例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・ 会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調整）	通年	
・ 委員会活動及び事業の記録保存	通年	
・ 全事業への参加協力	通年	
・ 理事長諮問に関する答申業務	通年	

7. 出 向 者 抱 負

公益社団法人日本青年会議所 JC プログラム実践委員会

中村 篤弘



この度、JC プログラム実践委員会へ出向致します中村篤弘です。初めて日本 JC へ出向するという事で、大変楽しみであり緊張もしております。役割としましてはリーダーを育てるというのが大きな役割であり、主要な会議・大会でのセミナー開催、そして全国各地でプログラムの実施を行ってまいります。出向するに当たり、出向先で得られたことを LOM に持ち帰り、その魅力を伝えてまいる所存であります。どうぞよろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 領土・領海委員会

廣井 公壽



公益社団法人日本青年会議所 領土・領海委員会に出向させて頂くことになりました。歴史認識等を再勉強出来るチャンスとし、多くの知識を吸収します。そして今までとは違った広い視野で日本や世界を見たいと思います。また情報交換を活発にして LOM の円滑な運営の参考にしたいとも考えております。新しい出会いで、一人でも多くの気の合う仲間が出来るように頑張ります。皆様のご支援ご協力のほどよろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

監査担当役員

後藤 英範



半世紀の時を経て、本年度、社団法人淡路青年会議所は51年目を迎えます。50年の礎のもと、新たな1年がスタートします。変化を恐れず、何事にもチャレンジし、新時代を創造する最高のタイミングではないでしょうか。本年度は監事として本来の役目である、本会がルールに基づき運営されているか、それぞれの役割を的確に遂行し、「明るい豊かな淡路島」実現のために、きちんと活動が行われているかを、見極めなければなりません。冷静に監査するのはもちろんのこと、今まで経験してきたことを基に、メンバーにアドバイス等も積極的に行い、時には厳しく叱咤激励し、未来に向けた新しい第一歩を共に歩んで行きたいと思えます。一年間メンバーの皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

後藤監査担当役員セクレタリー

仲野 正倫



2013年度 兵庫ブロック協議会 後藤監査担当役員のセクレタリーとして出向させていただくことになりました。セクレタリーの役割は、主に秘書的業務です。ここで培った経験を淡路へ持ち帰り、役立てていきたいと考えます。淡路JCから出向していることを自覚し行動していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

後藤監査担当役員セクレタリー

法月 正義



この度は兵庫ブロック協議会后藤監査担当役員のセクレタリーという機会を与えて頂きありがとうございます。昨年度に公室長を務めさせて頂いた経験を生かして、後藤監査担当役員の業務がスムーズに行えるよう務めて参ります。移動時間が多くなりますので、なるべくリラックスして頂けるよう務めると共に、たくさんお話を聞かせて頂いて勉強させて頂きます。同時にブロックで培った友情を深めるよう努力致します。一年間よろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

後藤監査担当役員セクレタリー

福富 健介



この度、後藤監査担当役員のセクレタリーを務めさせて頂くことになりました。後藤監査担当役員が職務に専念できるよう、計3名のセクレタリーでお互いの役割分担をうまくこなし、無駄のない動きをしていくと共に、若き熱と力を存分に発揮できるよう活動してまいりたいと考えます。またこの職務は多くの人と接する機会もあり、得るものがたくさんあると思います。一年後には一回り大きな Jaycee へとスキルアップし、青年経済人として飛躍できるよう頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫の未来創造委員会

吉井 崇行



兵庫ブロック協議会兵庫の未来創造委員会に出向させていただくことになりました。役割としては、会員会議所理事長と兵庫県知事との懇談会の実施と広域災害に対しても機能するJC災害ネットワークの構築を主に行う委員会です。出向させていただけることに感謝し、委員会に積極的に関わることでLOMに1つでも多くのことを持ち帰って参りたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

会員拡大推進委員会

中田 勝文



兵庫ブロック協議会会員拡大推進委員会へ出向させて頂くことになりました。近年、LOMにおいても会員減少は、大きな問題があります。ブロックへ出向し他LOMの方々と交流し、様々な意見、手法を学びLOMに持ち帰り伝えられるように、1年間一生懸命頑張って参りますので、ご協力よろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

ブロック大会運営委員会

中村篤弘



この度、ブロック大会運営委員会へ出向します中村篤弘です。前年度まで会員大会と称されていましたが、公益性を高めるべくブロック大会という名前へ変更となっております。今年度は3 LOM 合同での開催となり前例がないため取り纏めが大変だと予測されます。そんな中、副委員長を仰せつかり委員長のよきパートナーとしてサポートし、兵庫の魅力を伝えられるよう努める所存であります。どうぞよろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

日本 JC 連携推進会議

原田 啓行



本年度、兵庫ブロック協議会 日本JC連携推進会議へ出向することになりました。民主党政権から自民党政権に移り、憲法改正に注目が集まるというタイムリーな状況の中、この議会に出向させていただくことは大変興味深いことであり、有意義なことであると感じております。後藤監事や上村直前が責任者を務められた会議体でもありますので、淡路JCの看板を非常に重いものとして受け止め、活動に邁進して参る所存です。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

JC 運動発信委員会

川越 勇輔



本年度、兵庫ブロック協議会の JC 運動発信委員会に出向させていただくことになりました。役割としてはブロックホームページの管理・運営、各種大会・会議におけるナイト・ブースの設営の検討・運営、褒賞に関する窓口業務となっています。ここで培った経験を LOM のメンバーにお伝えできるよう一年間頑張っておりますので、ご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

財政特別委員会

三倉 克仁



本年度、兵庫ブロック協議会 財政特別委員会に出向させていただくことになりました。ブロックの委員会から上程される議案を財政面、コンプライアンス面で審査することが主な業務です。そんな中、副委員長を仰せつかり委員長のよきパートナーとしてサポートし、他 LOM の方々と交流する中で得た経験を淡路 JC に持ち帰り、今後の JC 活動に役立てて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

浅井 克也



この度、兵庫アカデミー委員会に出向させて頂くことになりました。JCについて学べるまたとない機会を与えて頂き感謝しております。他ロムの方々との交流を深めると共に自身のスキルアップに努めたいと考えております。まずは出席する事を目標に1年間頑張ってまいりますので、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

時枝 弘記



この度兵庫アカデミー委員会に出向させていただくことになりました。JC歴が浅い私にこのような機会をいただき、今後の活動に大いに役立てることができると感謝しております。委員会メンバーは60名を超え、兵庫県各地から年齢も業種も考え方も多様な方々が集まっております。委員会で学び交流を深め、自身のスキルアップに努めます。1年間よろしく願いいたします。

8. 一般会計収支予算

自 2013年 1月 1日

収入の部

至 2013年 12月 31日

単位：円

款	項	目	2013年度修正予算	2013年度当初予算	当初予算との比較	備 考
会 費			8,380,000	7,900,000	480,000	
	会 費		8,380,000	7,900,000	480,000	
		新会員会費	480,000	0	480,000	新入会員3名×¥160,000
		正会員会費	7,360,000	7,360,000	0	46名×¥160,000
		特別会費	540,000	540,000	0	卒業生18名×¥30,000
入会金			150,000	0	150,000	
	入会金		150,000	0	150,000	
		入会金	150,000	0	150,000	新入会員3名×¥50,000
事業収入			0	0	0	
	事業収入		0	0	0	
		寄付金	0	0	0	
		補助金	0	0	0	
		助成金	0	0	0	
	登録料		0	0	0	
		登録料	0	0	0	
	雑収入		0	0	0	
雑収入				0		
寄付金			0	0	0	
	寄付金		0	0	0	
		寄付金	0	0	0	
		一般寄付金	0	0	0	
繰入金			400,000	350,000	50,000	
	繰入金		400,000	350,000	50,000	
		特別事業基金	400,000	350,000	50,000	法人移行関係500,000
		職員退職金	0	0	0	
		事務局整備引当金	0	0	0	
雑収入			3,000	3,000	0	
	雑収入		3,000	3,000	0	
		受取利息	3,000	3,000	0	
		雑収入	0	0	0	
繰越金			6,029,718	580,000	5,449,718	
	繰越金		6,029,718	580,000	5,449,718	
		繰越金	5,449,718	0	5,449,718	
		職員退職金	80,000	80,000	0	
		事務局整備引当金	500,000	500,000	0	
合 計			14,962,718	8,833,000	6,129,718	

支出の部

単位：円

款	項	目	2013年度修正予算	2013年度当初予算	当初予算との比較	備 考
法人費			6,070,133	4,403,000	1,667,133	
	会議費		241,800	241,800	0	
		総会費	15,000	15,000	0	ハガキ代
		理事会費	226,800	226,800	0	12回分
	人件費		1,110,000	1,110,000	0	
		給料	960,000	960,000	0	
		諸手当	150,000	150,000	0	交通費他
		退職金	0	0	0	
	渉外費		550,000	79,200	470,800	
		渉外費	550,000	79,200	470,800	周年、LOM役員懇談会費等
	慶弔費		200,000	50,000	150,000	
		慶弔費	200,000	50,000	150,000	
	事務費		3,160,000	2,157,218	1,002,782	
		印刷費	70,000	50,000	20,000	
		消耗品費	750,000	487,218	262,782	
		通信費	520,000	250,000	270,000	電話代、JCI [®] 送料等
		賃貸料	1,020,000	1,020,000	0	¥85,000×12ヶ月
		水道光熱費	250,000	250,000	0	
		什器備品費	0	0	0	
		修理費	400,000	50,000	350,000	FAX・電話等
		雑費	150,000	50,000	100,000	新聞代等
	報酬料金費		0	0	0	
	法定福利費		25,000	25,000	0	
		法定福利費	25,000	25,000	0	
	負担金		783,333	739,782	43,551	
		JCI会費	43,708	41,032	2,676	¥892×49名
		日本JCI会費	275,000	260,000	15,000	¥30,000+¥5,000×49名
国際協力資金		89,425	83,950	5,475	¥5×365日×49名	
近畿地区会費		90,200	84,800	5,400	¥2,000+¥1800×49名	
兵ブ会費		285,000	270,000	15,000	¥40,000+¥5,000×49名	

9. 特別事業基金（特別会計）収支予算

2013年度 特別事業基金修正収支予算書

単位：円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
2012年度繰越金	1,223,139	2013年度繰出金	350,000
2013年度繰入金	0	2014年度繰越金	873,139
雑収入			
合計	1,223,139	合計	1,223,139

10. 2013年度社団法人淡路青年会議所 役員名簿

理事長	向 内	英 光
直前理事長	上 村	雄二郎
副理事長	出 口	利 一
	池 澄	泰 彦
	飛 松	孝 治
	平 川	智 己
専務理事	沖 田	和 良
理 事	有 賀	雄 一
	川 越	勇 輔
	中 田	勝 文
	三 倉	克 仁
	吉 井	嵩 行
出向理事	原 田	啓 行
	中 村	篤 弘
監 事	後 藤	英 範
	廣 井	公 壽

11. 出向者一覧

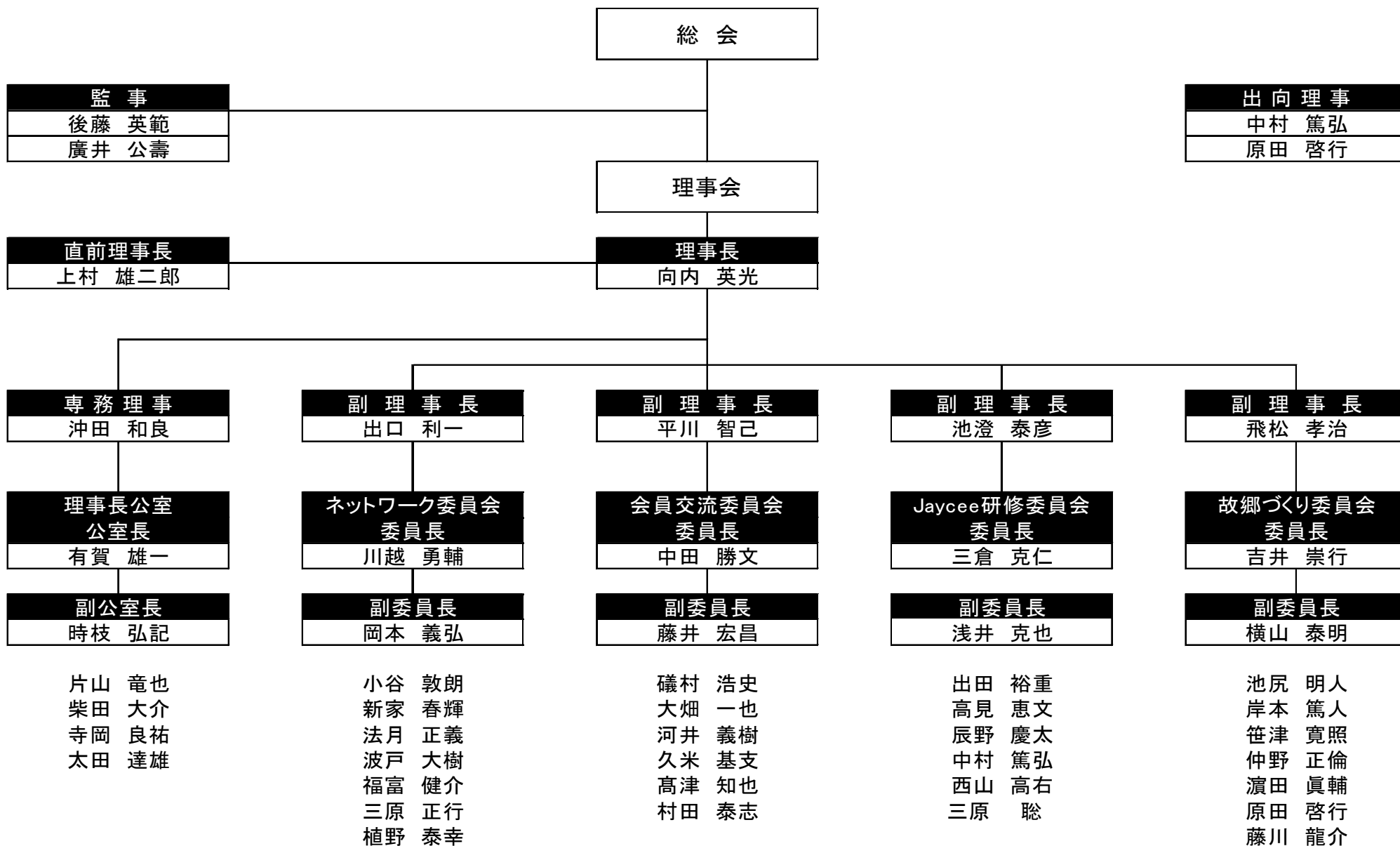
公益社団法人日本青年会議所

出 向 先	役 職	出向者氏名
JC プログラム実践委員会	委 員	中村 篤弘
領土・領海委員会	委 員	廣井 公壽

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

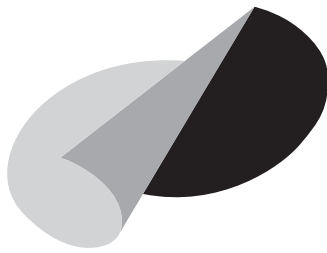
出 向 先	役 職	出向者氏名
	監査担当役員	後藤 英範
	セクレタリー	仲野 正倫
	セクレタリー	福富 健介
	セクレタリー	法月 正義
兵庫の未来創造会議	委 員	吉井 崇行
会員拡大推進委員会	委 員	中田 勝文
会員大会運営委員会	副委員長	中村 篤弘
日本 JC 連携推進委員会	委 員	原田 啓行
JC 運動発信委員会	委 員	川越 勇輔
財政特別委員会	副委員長	三倉 克仁
兵庫アカデミー委員会	委 員	浅井 克也
兵庫アカデミー委員会	委 員	時枝 弘記

12. 組織及び委員会構成



13. 年間スケジュール

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
例 会		10日(木) 1月例会 16:00~17:30 淡路夢泉景	13日(水) 2月例会 18:30~20:30 夢海游 淡路島	13日(水) 3月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館	10日(水) 4月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館	8日(水) 5月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館	12日(水) 6月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館	10日(水) 7月例会 18:30~20:30 洲本市文化体育館	7日(水) 8月例会 18:30~20:00 洲本市文化体育館	11日(水) 9月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館	9日(水) 10月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館	13日(水) 11月例会 18:00~19:30 夢海游 淡路島	14日(土) 12月例会 16:00~18:00 淡路島観光ホテル	
総 会		10日(木) 第77回通常総会							7日(水) 臨時総会				14日(土) 第78回通常総会	
理 事 会		4日(金) 17:30~19:00 夢海游 淡路島	6日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島	6日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島	3日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島	1日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島	5日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島	3日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島	1日(木) 19:00~21:30 夢海游 淡路島	4日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島	2日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島	6日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島	4日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島	
三 役 会		28日(月)	25日(月)	25日(月)	22日(月)	27日(月)	24日(月)	22日(月)	26日(月)	23日(月)	28日(月)	25日(月)	23日(月)	
日本青年会議所		京都会議 17日(木)~20日(日)		復興創造フォーラム(宮城) 10日(日)					サマーコンファレンス(横浜) 20日(土)~21日(日)		全国会員大会(奈良) 3日(木)~10月6日(日)			
JCI関係						ASPAC(韓国) 13日(木)~16日(日)						JC世界会議(リオ・ジャネイロ) 11月5日(火)~10日(日)		
近畿 地区	会員会議所会議	京都会議中							地区大会中 13日(土)					
	地区事業								近畿地区大会(宇治)					
兵庫 ブ ロッ ク 協 議 会	会員会議所会議		10日(日)神戸	23日(土)丹波	27日(土)宝塚		29日(土)龍野				26日(土)姫路	23日(土)神戸		
	正副・役員会議	14日(月)西宮	17日(日)姫路	13日(水)尼崎	17日(水)三木	19日(日)篠山	20日(水)明石	27日(土)加古川		16日(月)西宮	12日(土)神戸	13日(水)豊岡	21日(土)豊岡	
	役員会議	14日(月)西宮	17日(日)姫路	13日(水)尼崎	17日(水)三木	19日(日)篠山	20日(水)明石	27日(土)加古川		16日(月)西宮	12日(土)神戸	13日(水)豊岡	21日(土)豊岡	
	合同委員長会議		10日(日)神戸									23日(土)神戸		
	公式訪問役員懇談会													
その他事業			7日北方領土の日 22日竹島の日 22日県議会JCI議員との懇 談会 23日会員拡大事業	3日会頭訪問		憲法タクミーティング	マニフェスト型公開討論会	中学生県議会	24日(土) ブロック大会 (西播磨大会)	知事懇談会				
兵庫ブロック内 各地周年記念式典		周年詳細未定 香住(45周年) 神戸(55周年) 三田(45周年)												
						18日(土)予定 加古川(55周年)	8日(土)予定 伊丹(50周年) 9日(日)予定 赤穂(50周年)							
各 委 員 会 事 業 計 画	理事長公室	入会案内冊子作成	兵庫ブロック協議会 LOM役員懇談会	前期入会候補者説明会							後期入会候補者説明会		12月例会	
	ネットワーク	ホームページ作成 総会設営	総合資料作成 会員名簿	3月例会		第19回 わんぱく相撲淡路場所		7月例会	臨時総会設営		10月例会		総会設営	
	会員交流	新年会				5月例会			淡路島まつりおどり大会				家族忘年会	
	Jaycee研修		2月例会		4月例会		6月例会 リーダーシップ育成事業		8月例会					
	まち 故郷づくり	1月例会							社会開発事業		9月例会		11月例会	



Awaji Island